

地方史情報

115

2013年8月

グローバル化のなかの日本史像

浪川 健治

（前略）ここでは、外在的な概念によって歴史を解釈するのではなく、地域を取り上げることによって歴史を抽象化し全体性を開示する概念が創造されるのである。この共同研究の目的は、とりわけ18世紀中期から19世紀にいたる、いわば「長期の19世紀」から現代に通じる時間の流れのなかに創造された歴史像を明らかにすることである。したがって、その最初を18世紀前期から中期にかけての地域社会の変動の端緒期の歴史像とその特質の検討におき、「長期の19世紀」の終末、すなわちグローバル化され国家が市場経済を主導した近代までを主たる研究対象とする。その上に、われわれが目指すものは、再近代化の現れとして市場経済が国家を相対化する今日のグローバル化の前提として、新たな社会矛盾が国家や社会の枠組みを超え拡大し拡散化される現代を展望することであり、歴史とは何かを、地域がどのように認識されるものであったかの考察を通じて明らかにすることである。

本書は、その様な関心から、「長期の19世紀」から現在に至る地域とその変容を、国家あるいは世界と対置させながら内実的な展開を描き出す。このために、次の論理の柱を立てた10本の論文によって構成される。Ⅰ「近世の危機とリスク」は、「長期の19世紀」の端緒である18世紀中期以降の飢饉と飢饉、内憂と外患、そして環境の利用と保護について扱っている。Ⅱ「移行期の国家と地域」は、幕末から1890年代の地域における学問と社会、近代政治性の獲得、移行期に生きた青年像を考察する。Ⅲ「地域の発見と主張」は、1920年代から現代にかけての地域をめぐる発見と主張、そして民族の今を問う内容となっている。

本書はこれらの課題に対して、日米の若手研究者の参加を得てアプローチを図る。これらの分析を通して、歴史の実体としての地域と文化のとらえ返し、〈国家と地域〉〈世界と地域〉の描き直し、さらには人々の新たな結合への展望を〈周辺＝差異化〉のなかにさぐる。そして、日米双方の研究者からの、歴史に対するまなざしの共通性と相違性の確認をふくめて、日本列島をとりまく日本史を、つねに関心を現代に置きながらも、時間の流れのなかで人間の営為がいかなる内容と意味、そして可能性をもち、今に至ったのか、その様々な過程を、史料を分析し理論化することで考察する。それは、地域＝〈周辺＝差異化〉を歴史の基軸としながら、人間の可能性と「現在」とを「時」の流れと「空間」＝世界のなかに捉えることで、その意味でのグローバルなヒストリーを構築しようとする試みでもある。

（河西英通・浪川健治編『グローバル化のなかの日本史像』2013.5、小社刊、「序」より）

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆アイヌ語地名研究 アイヌ語地名研究会
〒005-0803札幌市南区川治三条4-6-5 打田
元輝方 TEL011-556-1416／〒062-0007札幌
市豊平区美園七条1丁目3-1-507 高木崇
世芝方 TEL011-821-2831
年5000円 1998年創刊
◇15 2012.12 B5 177p 2000円
東北アイヌ語地名と考古学 小野 有五
地名と伝承ばなしから見るコタン 因幡 勝雄
コイドイエ(声問・恋問)とオウコ
ッペ(興部) 早田 国光
十勝のアイヌ語地名(3)
中札内村 秋山 秀敏
難読アイヌ語地名「厚別」を「あ
しりべつ」に 横平 弘
アイヌ語地名
千島 クナシリ(1) 伊藤せいち／本田克代
今井八九郎の北海道測量原図(和
人地部分) 打田 元輝
談話室
「トバ」(乾魚)アイヌ語地名に
登場 伊藤せいち
「おもしろアイヌ語地名かるた」
作成に向けて 三好 勲
『アイヌ語地名研究』バックナンバー
アイヌ語地名研究会の概要／同会会員
あとがき 伊藤せいち

◆文化情報 北海道文化財保護協会
〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目

かでる2・7ビル9階 TEL011-231-4111
www10.ocn.ne.jp/~bunkazai/
◇335 2013.1 B4 8p
新春ご挨拶 旭川文学資料館に見
る公共を担う姿 舟山 廣治
年越し膳から始まる正月行事 小田嶋政子
世界文化遺産への登録をめざして
(12) 北海道教育庁生涯学習推進局
文化・スポーツ課
北東北の縄文遺跡から 越田賢一郎
TICCIH 第15回国際会議(台湾大
会)に出席してー台湾と北海道
の製糖機械遺産を考える 山田 大隆
北海道文化財保護者功労賞を受賞
して！
三菱大夕張鉄道保存会の活動 奥山 道紀
北海道文化財保護功労賞をいた
だいて 本野 里志
文化財保護功労賞の受賞にあた
って 石川 博継
謹んで新年のご挨拶を申し上げま
す／書籍紹介 知里真志保の
「アイヌ文学」小坂浩宣著
根室市歴史と自然の資料館 猪熊 樹人
博物館という舞台 石川 孝織
神楽殿の新築について 葦原 高穂
第47回全道高等学校 郷土研究発
表大会 矢崎 一人
私と文化財
消え去る歴史、蘇る世界 加納 洋人
文化財を守る 旭川兵村記念館収
蔵の屯田兵村資料について 上出 秀信
読者の声

自然は北海道の財産、観光は文
化 小栗美貴子
道東北で戦時遺産の見直しが進
む 山田 雅也
文化財講演会開催のご案内／新
入一般会員紹介／他団体等寄
贈の刊行物等／事務局日より

◆北海道れきけん 北海道歴史研究会
〒063-0037札幌市西区西野七条9-2-12
田中貢方 TEL011-667-2137
homepage3.nifty.com/tm3053/
◇78 2012.12 B5 8p
北海道に水田をひろめた偉人
『寒地稲作の祖』中山久蔵氏に
ついて 久々湊昭三
北の土木建築(下) 丹野 忠志
平成24年度定期総会を開く
受贈資料／事務局日より／勉強会

◆北方民族博物館日より
北海道立北方民族博物館
〒093-0042北海道網走市潮見309-1 TEL01
52-45-3888 1991年創刊 hoppohm.org
◇87 2012.12 A4 4p
第27回北方民族文化シンポジウム
環境変化と先住民の生業文化
ー海洋生態系における適応 第
1部：海洋生態系と北方民族／
第2部：海洋環境の変化と先史
文化／第3部：海獣狩猟民と適
応／第4部：海洋における生業
活動の適応 中田 篤
講座 フィンランドにおけるサー
ミ文化の現状と博物館Ⅱ 第二
次世界大戦後の新居住地におけ
るスコルトサーミの生き方ー
1949年から現在まで 講師：ヴ

イイコ＝フォードルフ氏 笹倉いる美
講座 地球温暖化とトナカイ牧畜
民 講師：中田篤 中田 篤
ロビー展 明治大学政治経済学部
寄贈資料展ー明治大学アラスカ
遠征の記録 角 達之助
講座 日本人によるアラスカ発掘
映像の記録 講師：岡田淳子 角 達之助
調査報告 2012年度カムチャツカ
調査 シロイルカがやって来る
村 調査者：渡部裕 渡部 裕
ロビー展 山口末花子写真展 カ
スカーカナダ・ユーコンの森の
狩猟民／企画展 アイヌ語地名
を歩く 山田秀三の地名研究か
ら2013・冬 網走／オホーツク

◆八戸地域史 八戸歴史研究会
〒039-1164青森県八戸市下長2-7-19
三浦忠司方 TEL0178-38-7376 1982年創刊
◇49 2012.12 A5 68p 900円
口絵 「自然真営道」表紙から発
見の安藤昌益の名前
八戸の近江商人・近江屋市太郎と
大塚屋伊兵衛 大岡 達夫
八戸藩九代藩主南部信順の子
慶姫(董姫)の縁組みについて 七崎 修
南部氏系図を考える 岩城 大介
「目付所日記」にみる八戸藩士の
湯治 中野渡一耕
みじか史 真田太古事件は士族民
権運動か 橋本 正信
書評 『八戸藩「遠山家日記」の時
代』 菊池 勇夫

◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会
〒020-0102岩手県盛岡市上田字松屋敷34
岩手県立博物館内 TEL019-661-9688

1970年創刊
 ◇253 2013.1 A4 12p
 《特集 小さな郷土の大きな文化遺産》
 文化財を復興の力に 達増 拓也
 雫石町の「お宝」最新情報とこれ
 から 吉川 健次
 かけがえのない財産を後世に 平澤 勝郎
 未来に伝える葛巻町の歴史・文化
 鈴木 重男
 「文化財」活動と私 藤原 更生
 平泉文化遺産の文化圏に生まれた
 誇り 畠山 喜一
 民謡「探検隊」 金野 静一
 幻の古武道を訪ねて 菊地由加奈
 郷土の遺産を次世代へ 平舘 良孝
 盛岡城下河南歴史散策に参加して
 阿部 敏男
 続平泉志(17) 陣馬張山／東稲山
 ／豊田城跡碑／白鳥柵／千厩旧
 跡／花流泉
 江刺で笛の講習会 74人が参加／
 24年度の郷土史学習会／25年度
 の郷土史学習会／古文書読み下
 し講座
 ◆国史談話会雑誌 東北大学国史談話会
 〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大
 学大学院文学研究科日本史研究室気付
 TEL022-795-6064 1957年創刊
 www.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/
 ◇53 2012.12 A5 146p
 元弘・建武津軽合戦に関する一考
 察 橋本 竜男
 中世後期における伊予守護河野氏
 と島嶼部領主一忽那氏および二
 神氏の趨勢 佐藤 正隆
 武蔵国秩父札所三十四観音霊場の
 形成にみる中世後期禅宗の地方

展開一特に曹洞宗陸奥国黒石正
 法寺末、広見寺とその末寺を中
 心に 小野澤 眞
 近代多賀城の史跡利用一聖蹟顕彰
 事業の失敗例の検討 鈴木 琢郎
 東日本大震災の体験
 東日本大震災を体験して 大藤 修
 復旧までの日々 風間亜紀子
 備忘(震災記)抄 羽下 徳彦
 歴史資料保全活動の経験から 白根 靖大
 被災地ボランティアを体験して
 片岡 耕平
 東北大学附属図書館の3・11直
 後とポスト3・11 阿部 文夫
 東日本大震災と斎藤養之助家史
 料 手嶋 泰伸
 宮城県公文書館の被災状況 兼平 賢治
 東日本大震災後における仙台市
 博物館の活動を通して 菅野 正道
 紹介 中条唯七郎著／中村美英子
 訳／青木美智男校註『善光寺大
 地震を生き抜く 現代語訳『弘
 化四年・善光寺地震大変録』』 早坂 昌英
 同窓通信
 2012年度国史談話会大会記事
 研究発表要旨
 古代から中世初期の疾病観念
 伊藤 愛発
 伊予守護河野氏の内紛と忽那
 氏一戦国期における一海上
 領主の変遷 佐藤 正隆
 狐と狸のイメージヒストリー
 早坂 昌英
 旧国有財産法の成立と地域行
 政一大正期仙台の都市計画
 と軍用地管理換え問題 手嶋 泰伸
 公開講演要旨
 中世沿岸部の開発について

一港湾修築と新開 綿貫 友子
 18世紀〈寛容する地域と民衆
 移動〉一盛岡藩「宗門人別
 目録」をてがかりに 浪川 健治
 総会・懇親会
 同窓通信
 研究室ノート／会員の出版状況
 ◆東北宗教学 東北大学宗教学研究室
 〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大
 学大学院文学研究科 TEL022-795-6022
 2005年創刊
 ◇7 2011.12 A5 224p
 19世紀前半モンゴル宣教における
 聖書翻訳をめぐる諸問題とその
 意義 滝澤 克彦
 安永期江戸小咄本からみる死 大村 哲夫
 被災した岩沼の墓地一津波の爪痕
 を癒そうとする人々の自助努力
 小田島建己
 宗教と医学を超えた一済世病院長
 小林参三郎の治療論 栗田 英彦
 インターネット時代の流行神
 一「願いの宮」を事例に 黄 緑萍
 中世説話における蛇観念 王 立 雪
 ネットワークと米飯一祭祀における共
 食集団の分析から 工藤さくら
 「マヨヒガ」伝承に込められた心
 意の再考一柳田國男・佐々木喜
 善を出発点として 佐々木超人
 自著を語る
 『八重山鳩間島民俗誌』 大城 公男
 法華経に関する3冊 大角 修
 ◆東北文化研究所紀要
 東北学院大学東北文化研究所
 〒980-8511仙台市青葉区土樋1-3-1
 TEL022-264-6430 1969年創刊

◇44 2012.12 B5 131+79p
 近代墓地法制の形成・展開と墓地
 慣行との軋轢(4)一旧城下仙台
 を中心にして 岩本 由輝
 清源寺「子育ていのちの地蔵尊」
 と水子供養 鈴木由利子
 境界の東北人たち一「みやことみ
 ちのく」伝説の周辺 野崎 準
 松島町雄島周辺海底採集板碑の報
 告(1)
 松島板碑研究会 新野一浩／七海雅人
 講演録 北京故宫一中国帝王文化
 の集成 趙令志／小沼孝博・訳
 東北地方における地ビール製造業
 の動向 酒井宣昭／鈴木俊一
 伝統漁撈をめぐる社会化(下・9) 大江 篤志
 ◆ナジェージダ(希望)
 石巻若宮丸漂流民の会
 〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23
 大島幹雄方 TEL045-773-4643
 homepage2.nifty.com/deracine/
 ◇29 2012.12 A4 32p
 アリュेशन列島 エイダック
 島紀行(上) 河内 牧栄
 津太夫は語り始める 春名 徹
 ラングスドルフがみた太十郎の自
 殺 高橋 寿之
 ラングスドルフの日本産魚類標本
 コレクション調査記 サンクト
 ペテルブルグに200年前の魚類
 標本を探して 滝川 祐子
 津太夫よ、君は地球が丸いことを
 知っていたか？ 佐藤三寿夫
 小特集 まだ続く連載読み物「我
 にナジェージダ(希望)あり」
 虚と実のあいだ一作者からのメ
 ッセージ 大島 幹雄

石巻弁訳を担当して 谷川 正明
伊勢からのメッセージ
地域社会と大黒屋光太夫 小林 良輔
私の若宮丸 武内 宏之
新聞連載「我にナジェージダあり」を読んで 阿部 和夫
アストラハン通信(1) 柴田 明子
震災土蔵の現況 本間 英一
「写真集 塩竈 東日本大震災の記録」の発行について 綿 晋
告知板 2012年度総会と講演会開催のお知らせ、東洋文庫ミュージアムで北方アジア探検史展、映画『津波のあとの時間割一石巻・門脇小・1年の記録一上映予定／会員消息

◆史の杜 東北大学東北アジア研究センター
上廣歴史資料学研究部門ニュースレター
〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 TEL022-795-3196 2013年創刊 uehiro-tohoku.net

◇1 2013.1 A4 8p
上廣歴史資料学研究部門の設立と
「史の杜」創刊 平川 新
寄附研究部門に期待すること 佐藤 源之
上廣歴史資料学研究部門への期待

丸山 登
部門の活動
歴史資料保全活動について 高橋 陽一
地域の皆さんと古文書を学ぶ 荒武賢一朗
岩出山古文書を読む会の紹介 菊地 優子
「岩出山史跡めぐり」への参加 荒武賢一朗
「講座：地域の歴史を学ぶ」について 荒武賢一朗
「日本語、読めますか？」

一学生向け古文書講座の紹介 高橋 陽一
古文書はとてどもドラマチック 渡邊 信子
「古文書を読む会」感想 早坂 昌英

上廣歴史文化フォーラム開催 高橋 陽一
上廣歴史文化フォーラムに参加して
て 佐々木義朗
上廣歴史資料学研究部門
平成24年の主な活動

◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会
〒011-0909秋田県秋田市寺内兎桜1-5-55
古四王神社社務所内 TEL018-845-0333
1981年創刊
w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html

◇78 2012.12 B5 14p
全国菅江真澄研究集会男鹿大会の
成功を祝す 田口 昌樹
旅人、菅江真澄の日記「男鹿五風」
から旅、観光を探る 全国菅江
真澄研究集会男鹿大会開催 天野 荘平
下北半島菅江真澄ツアー―半島間
連携プロジェクトに参加して 清水川 修
高橋淳一郎氏のご逝去を悼む 田口 昌樹
真澄短信

図書紹介 『国境に生きた人々』
会員・福岡龍太郎氏(北秋田市)
会員の動静／新入会員の報告／平成
24年度後半の学習会のお知らせ
せ／菅江真澄新春講演会の案内
／原稿大募集

世界文化遺産平泉と真澄 小笹 鉄文
真澄の一枚(10) 北上川の船橋
『粉本稿』より(大館市立中央図
書館提供) 菊地 利雄

◆北方風土 北方風土社
〒019-1541秋田県仙北郡美郷町土崎字上野
乙1-254 森本彌吉 TEL0187-85-4027
1980年創刊

◇65 2013.1 A5 258p 2000円
佐藤信淵(上) 稲 雄次

秋田藩主佐竹氏の江戸市中諸社参
拝―浅草、神田、鳥越、湯島、
他 神宮 滋
山の小文
五葉山の「日の出岩」の文字 田牧 久穂
幕末の火砲及び弾薬の基礎―各種
火砲及び弾薬の定義並びに分類
(付記・秋田県内の諸資料に見
られる火器) 佐藤真基夫
佳(忠)姫様のこと―江戸・家督 原 千秋
鍛冶の神を考察する(下) 佐藤 松雄
根城(遠野)南部氏の墓の秘密
―清心尼と風葬 松橋 由雄
百家風発
同郷の百寿翁をおくるの辞
―史友から畏友への交誼 神宮 滋
あの南朝の天子は今 高橋傳一郎
わらべうたの深層 本城屋 勝

◆置賜の民俗 置賜民俗学会
〒992-1122山形県米沢市万世町梓山1603-3
梅津幸保方 TEL0238-28-5036 1965年創刊

◇19 2012.12 A5 161p 900円
《特集 草木塔の心をさぐる》
巻頭言 自然との共生 梅津 幸保
シンポジウム「草木塔の心をさぐ
る」記録

資料1 草木塔の心―自然の恵み
に感謝し、草木を供養する 梅津 幸保
資料2 田沢の草木塔 荒澤 教真
資料3 川西町所在の草木塔一覧 渡邊 敏和
資料4 「材木供養塔」と「材木供
養塔」のこと―材木供養塔から
草木塔を眺める 守谷 英一
資料5 草木国土悉皆成仏の心 小野 卓也
資料6 置賜民俗学会研究集会
「草木塔の心をさぐる」 岩鼻 通明
民俗聞き書き2 不動淵の河童

墓石型の草木供養塔からの推察 渡邊 敏和
全国の草木塔一覧表 草木塔の写
真―指定文化財 米沢17+南陽
1+飯豊1+県外2 梅津 幸保
梅峰信仰と草木供養塔 菅原 健治
鎌倉新仏教における草木仏性・成
仏論 原 淳一郎
草木塔を建てた人々 清野 春樹
草木塔祭―なせばなる秋まつり 梅津 幸保
「鬼子母神」信仰と「取子」の習俗
加藤 和徳
民俗誌としての「シンボエ」 守谷 英一
玉庭海渡神社の落書きから見える
世相 渡邊 敏和
資料紹介 天保四年米蔵日記 井上 俊雄
「南陽の菊まつり」百年 鈴木孝一／高岡亮一
民俗短信

梓山羽山神社の震災による修復
山形県西置賜郡小国町 舟渡の
獅子踊り 小国町指定無形民
俗文化財
干支の話 巳年について 関谷 良寛
置賜の民俗ニュース
置賜の祭りなど日程
置賜の民俗視察研修会
白鷹町を訪ねて 清野春樹／小川弘

置賜民俗学会誌	ISSN 1911-0065	発行 所 置 賜 民 俗 学 会
置 賜 の 民 俗		
(特集) 草木塔の心をさぐる		
巻 頭 言	梅 津 幸 保 (1)	
置 賜 民 俗 学 会 誌 (特 集)		
「草木塔の心」をさぐる	梅 津 幸 保 (1)	
田沢の草木塔	荒 澤 教 真 (20)	
川西町所在の草木塔一覧	渡 邊 敏 和 (30)	
「材木供養塔」と「材木供養塔」	岩 鼻 通 明 (40)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (50)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (60)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (70)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (80)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (90)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (100)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (110)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (120)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (130)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (140)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (150)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (160)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (170)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (180)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (190)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (200)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (210)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (220)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (230)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (240)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (250)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (260)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (270)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (280)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (290)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (300)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (310)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (320)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (330)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (340)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (350)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (360)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (370)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (380)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (390)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (400)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (410)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (420)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (430)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (440)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (450)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (460)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (470)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (480)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (490)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (500)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (510)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (520)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (530)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (540)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (550)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (560)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (570)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (580)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (590)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (600)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (610)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (620)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (630)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (640)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (650)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (660)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (670)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (680)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (690)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (700)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (710)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (720)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (730)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (740)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (750)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (760)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (770)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (780)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (790)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (800)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (810)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (820)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (830)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (840)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (850)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (860)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (870)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (880)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (890)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (900)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (910)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (920)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (930)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (940)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (950)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (960)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (970)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (980)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (990)	
「草木塔の心」をさぐる	岩 鼻 通 明 (1000)	

*草木塔(そうもくとう)とは耳慣れぬ言葉で

ある。手許にある大部な『日本民俗大辞典』（吉川弘文館）にも掲載されていない（『広辞苑』は第6版で登載）。草木に命の大切さを仮託し、自然の恵みに感謝を捧げ、命の供養として建立した碑や塔のことである。塔は、バラグアイの日本人開拓村の二基を含め全国で201基が確認されているが、そのうちの109基が山形県置賜地方に集中しており、同地方は草木塔の発祥地とされている。最も古い塔は安永9(1780)年の銘のあるものであるが、草木塔の存在が世間に認知されるようになったのは米沢市の佐藤忠蔵氏が昭和29年に『羽陽文化』という冊子に発表してからであるという。本特集は、平成24年7月に開催された置賜民俗学会平成24年度研究集会での、歴史学、民俗学、僧侶、同塔を長く調査してきた地域の研究者らによるシンポジウム「草木塔の心をさぐる」を中心に、自然と人間とが共生して生きていくことの意味を問いかけるものである。

なお、法人化を機に自然と人間との共生を基本理念に掲げ、平成18年に環境宣言をおこなった山形大学は、「草木塔ネットワークの設立と調査・研究・利用の推進」のプロジェクトを立ち上げ、キャンパス内に「草木塔の心」と刻んだ碑を建立している。

◆東北学

東北芸術工科大学東北文化研究センター
(発売：はる書房)
〒990-9530山形県山形市上桜田3-4-5
TEL023-627-2168 年10000円 2013年創刊
gs.tuad.ac.jp/tobunken/

◇1 2013.1 A5 232p 1905円
旅スケッチ

アフリカ！アフリカ！ 田口 洋美
《特集 はつかりから、はやぶさ、へ》
対談 若者よ、今が未来への土台

を築く時だ!!—未完成の「9 9
9」で旅立つ準備を怠るな

松本零士／田口洋美
エッセイ 「はつかり」から「は
やぶさ」まで 佐藤 健治
論 考
東北地方の鉄道路線開業の歩み

原口 隆行
岩越線の全通と会津 徳竹 剛
エッセイ 東北に残る最後のブル

ートレイン 小牟田哲彦
エッセイ 東北の鉄路と文学 小関 和弘
阿武隈梁山泊外伝(1) たつきよしみつ
八甲田山における山岳ガイドの変
遷(1) 羽根田 治
ホンのひとこと

—「浦」で生きるということ
東文犬研究所—J R東日本さんに
聞きました
アートフルワンダーランド(1)
—染織家の手仕事と感性 謝 黎
復興ダイアリー(1)—新聞紙面に
みる復興(2011.3.11～2012.9.10)

◆南陽の歴史 南陽の歴史を知る会会報
〒999-2232山形県南陽市三間通361-8
須崎寛二方 TEL0238-43-5299

◇192 2012.12 B5 10p
殿様、東京へ行かないで！ 須崎 寛二
砂糖は樽で運ばれた 須崎 寛二
悪徳金貸し？ 須崎 寛二
郷土の商人たち
—第214回学習会から

関 東

◆茨城民俗学会会報
〒310-0036茨城県水戸市新荘2-8-16
今瀬文也方 TEL029-231-4665 年3000円

www.minzoku.net
◇71 2013.1 A4 4p

平成25年を迎えて 今瀬 文也
第145回談話会のお知らせ
『常総・寛永期の大日石仏』／茨城
民俗52号特集「私の乗り物体験」
／初釜のお知らせ
つくば市吉瀬の十王図
写真：御供文範

書籍紹介 『土浦のお稲荷さん』、
『吹く風のままだに』 菊田俊男遺
稿集・病床録／カレンダー出版
柳下征史さん

◆常総の歴史 崙書房出版茨城営業所
〒315-0014茨城県石岡市国府4-6-5
TEL0299-24-0595 1987年創刊

◇45 2012.12 A5 96p 952円
『和名抄』みえる常陸国筑波郡の
郷について(1)—三村郷を中心
に 久信田喜一
鬼怒川中流の変遷とその影響 坂入 正夫
戦国期の額田小野崎氏と額田城合
戦 高橋 裕文
「大和田近江重清日記」大名考 安達 和人
災害伝承としての千軒の村
—茨城県北地域における事例 笹岡 明
水戸様の日光社参 河野 弘
郷土の本／受贈図書を紹介コーナ
—

◆鹿沼史林 鹿沼史談会
〒322-0031栃木県鹿沼市睦町287-14 鹿沼
市立図書館内 TEL0289-64-9523 年3000円
1954年創刊 tochigi-vnpo.net

◇52 2012.12 A4 58p
『坂の上の雲』の奈良武次 岡田 幸夫
鹿沼八景・栗野八景について 中島 正

坂田山・水神山遺跡発掘の回想 中島 正
中央小学校所蔵資料について 福田 純一
壬生城移築門について 杉浦 昭博
定額位辨亮僧正 國立 恵俊
高野山清浄心院「下野国供養帳」
から広がる皆川氏の世界 小池 淳元
わたしのたけくらべ
上材木町「坂田会」のあゆみ 福田精一郎
史談会だより

◆那須文化研究 那須文化研究会
〒329-2752栃木県那須塩原市三島5-1
那須野が原博物館 TEL0287-36-0949
1987年創刊

◇26 2012.12 B5 191p
那須野が原の地質と自然災害 伴 敦志
下野那須資景知行帳に見える地名
(2) 天正十八年十月二十二日編

田代 誠
〈那須町プロジェクト調査報告書〉
那須町に分布する御富士山岩屑な
だれ堆積物 大滝 孝久
芦野宿問屋戸村氏

—その出自を訪ねて 伊藤 晴康
「逸室用水」と「人見市右衛門」 渡辺 康廣
那須の篠工芸—栃木県指定伝統工
芸品の現状 鈴木 俊策

明治から平成まで 那須町地内の
鉄道の変遷—東北本線、東北新
幹線及び未成線那須電気鉄道の
あらまし 高久 久二
写真で見る戦後の黒田原駅周辺 久留生利美
大名家文書(大関家文書)は語る
(11)—(慶長五年)七月晦日付久
代景備書状について 新井 敦史
地方文書は語る(11)—戊辰戦争下
における大田原藩の旧幕府領宛
て廻状について 高根沢広之

新刊紹介 那須塩原市の文化財／
大田原市の文化財 中村 悟
那須地区通信／栃木県文献一覽
(2011追録)(2012)／那須文化研
究会通信

◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報
〒320-0865栃木県宇都宮市睦町2-2
栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
年4000円 1991年創刊
◇86 2013.1 A4 4p
《特集 足利尊氏》
足利尊氏の魅力 江田 郁夫
尾道市・浄土寺所蔵の足利尊氏像
について 本田 諭
栃木県立博物館開館30周年記念特
別企画展「足利尊氏 その生涯
とゆかりの名宝」を拝観して 松本 一夫
新刊紹介 千田孝名著『足利尊氏
と足利氏の世界』 新井 敦史

◆群馬地名だより 群馬地名研究会
〒371-0835群馬県前橋市前箱田町29-8
小池照一方 TEL027-251-7660 1989年創刊
◇81 2012.12 B5 4p
火生石に付いて(1) 星野 正明
全国唯一の地名 垢 ガケっぶち
(『朝日新聞』2012年3月5日)
◇82 2013.4 B5 8p
佐渡奉行街道と総社宿の地名 福田 紀雄

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会
〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26
群馬県立文書館内 TEL027-221-2346
年4000円 1957年創刊
members3.jcom.home.ne.jp/gunmabunka/
◇313 2013.1 A5 80p
《群馬県における地方史研究の動向(8)》

総説 丑木 幸男
考古 勢藤力／亀井健太郎／小泉範明
石丸敦史／小林朋恵／秋本太郎
古代 藤森健太郎
中世 須藤聡／森田真一／秋山正典
近世 藤井茂樹／中村茂／関口莊右
近代・現代 丑木幸男／宮崎俊弥
福田博美／阿久津聡
民俗 板橋春夫／伊藤克枝
永島政彦／横田雅博
地理 町田 悟
口絵 高崎藩主酒井家家紋入鬼瓦
一群馬県立歴史博物館蔵品資料
(114) 中山 剛志

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会
〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1
TEL027-223-2785 年4500円 1973年創刊
www16.plala.or.jp/kuzira226/
◇227 2013.1 A5 56p
《特集 伊勢崎市の文化財》
伊勢崎市の文化財 文化財保護課
伊勢崎市 ウォーキングマップ伊勢
崎市・伊勢崎市教育委員会
古墳時代のいせさき 石島 和夫
ようこそ史跡女堀 文化財保護課
武田信玄の甘楽谷侵攻と城 飯森 康広
上野国大笹御間所について 田村喜七郎
わが町の文化財散歩
一東善養寺村林八右衛門の墓 岡田 昭二
大逆事件の刑死者 新村忠雄墓参
行と墓碑建立期一考 石山 幸弘
高山彦九郎日記による歴史散歩
(34) 『丁酉春旅』(14) 正田 喜久
歴史散歩の報告(事務局企画)
クロアチアとオーストリア 山崎 正
支部だより／事務局だより

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会
〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4
板橋春夫方 1979年創刊
◇132 2012.12 B5 4p
寛保二年の大風雨と洪水 和田 健一
宇都宮朝綱と下野守源義朝 須藤 聡
第95回例会記事

◆埼玉史談 埼玉県郷土文化会
〒350-0231坂戸市泉町12-5 大圖口承方
TEL049-281-4983 年4000円 1929年創刊
◇312 (59-4) 2013.1 A5 46p
新井氏と吉田氏一鉢形衆の構成員
伊藤 拓也
秩父札所第六番ト雲寺の寺宝
一「葵の紋の帳」について 栗原 一夫
飯能の和算家石井弥四郎和儀 山口 正義
成田氏長と熊谷之町長野喜三 長野 統
寺門静軒覚書 五 佐藤 繁
資料紹介 官員風 佐藤 繁
表紙写真解説 吉見町下細谷薬師
堂 年不詳阿弥陀三尊板碑断片
口絵写真解説

川崎平右衛門遺徳顕彰碑
受贈図書紹介
第637回 鴻巣市見学
第638回 常総地区史跡見学の旅
会のお知らせ／第37回埼玉県文化
振興集いの開催のお知らせ

◆ぶい&ぶい 無為無為 日本史史料研究会
〒171-0041東京都練馬区石神井町5-4-16
2008年創刊 www17.plala.or.jp/t-ikoma/
◇24 2013.1 A5 24p
中世前期の唐船
一そのイメージと実像 大塚 紀弘
新刊紹介 湯山学著『鎌倉府の研
究』(湯山学中世史論集4、岩田

書院、2011年11月刊) 森 幸夫

◆富士山文化研究会会報
〒369-0306埼玉県児玉郡上里町三町108-1
中嶋信彰方 TEL0495-71-4850 年4000円
◇37 2012.12 B5 8p
足利見学会報告
富士急ハイランドの人造富士
田子山富士修復計画
文献紹介 武蔵野市史 続資料編
九 諸家文書一／トランベール
2008.4 特集 いまひとたびの
富士／平成二十三年度富士市立
博物館館報／山梨県富士山総合
学術調査研究報告書 平成24年
3月
神道扶桑教五世管長 杉山一太郎
氏ご逝去／扶桑教富士吉田元祇
修復／富士見坂の最後のダイヤ
富士?／第二回見学会のお知らせ
せ／事務局より

◆我孫子市史研究センター会報
〒270-1132千葉県我孫子市湖北台5-15-17
岡本方 TEL04-7149-6404
www.geocities.jp/abikosisiken/
◇131 2013.1 A4 6p
歴史講演会へのご招待 関口 一郎
『新四国相馬霊場八十八ヶ所を訪
ねる』が発行されました 中澤 雅夫
新四国相馬霊場の第61番札所
一取手市台宿「大日堂の堂守」 近江 礼子
各部会の活動と次月予定

◆史談八千代 八千代市郷土歴史研究会
〒276-0046千葉県八千代市大和田新田452-
20 鈴木康彦方 TEL047-459-2506
年3000円 1976年創刊

◇37 2012.12 B5 106p
《特集 旧村上村・旧下市場村の総合研究Ⅰ》
「旧村上村・旧下市場村総合研究」

序説 村田 一男
村上村・下市場村年表 菅野 惇一
考古学からみた村上地区の概要 宮澤 久史
古代製鉄についての一試論 田中 巖
正覚院の歴史と特色
池証山鴨鴛寺正覚院の年表 村田 一男
正覚院の十九夜塔と十五夜塔に
ついて 巖 由美
「正覚院文書」に見る正覚院元
除地の土地取得に関する訴訟
事件 関和 時男
川嶋市郎右衛門家と花まつり 成田 忠志
八千代市村上地区の女人講石造物
巖 由美
旧村上村の教育および村上小学校
の歴史と人びと
旧村上村の教育と学校を支えた
人びと 菅原 賢男
川嶋榮太郎氏の足跡を求めて 佐久間弘文
当研究会の活動記録・活動予定

◆紙魚之友 房総史料調査会
〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1 東京大
学文学部日本史学研究室 1985年創刊

◇30 2012.12 B5 8p
房総史料調査会のいま・むかし 立野 見
思い出 房総史料調査会と私のこ
とども 西田かほる
史料研究ノート

天野勝義宛井上文雄書簡 三ツ松 誠
加瀬一家文書にみる天保期の東
総村落 小田 真裕

◆利根川文化研究 利根川文化研究会
〒101-8301東京都千代田区神田駿河台1-1

明治大学史資料センター 阿部裕樹方
TEL03-3296-4329 1991年創刊
www7a.biglobe.ne.jp/~tonebun/

◇36 2013.1 B5 76p
論文 昭和初期の木更津築港と海
面埋立について 池田 宏樹
研究ノート 「塩原太助の出店誓
約証文」再考 田中 康雄
活動紹介
利根運河の生態系を守る会 新保 國弘
文化財めぐり
茨城県五霞町の運河遺跡 青木 敏雄
書評・新刊紹介

川名登著『評伝赤松宗旦一利根
川図志が出来るまで一』 塚本 学
池田宏樹著『近代房総の社会経
済と政治』 小川 信雄
畑中雅子著『新編 千葉の歴史
夜話』 高橋 峰夫
村上昭彦著『八千代の文人たち
一歌碑・句碑を訪ねて一』 稲松 朋子
追悼文 川名登先生のこと 外山 信司
例会報告
巡検例会報告 新河岸舟運関係地
・川越五河岸地区巡検 川名 淳

◆房総石造文化財研究会会報
〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3
石田年子方 TEL04-7196-3375
年3000円 1980年創刊

◇116 2013.1 B5 14p
新年の御挨拶 沖本 博
新年懇談会のお知らせ／石仏勉強
会のお知らせ 千葉県の花見堂
地藏塔とその信仰／石仏見学会
のご案内 木更津周辺の石仏
新刊資料紹介 日本石造物辞典、
小見川の石造物一東・南地区編、

史談八千代 特集 旧村上村／
旧下市場村の総合研究その1
調査概報
天正銘小見川来迎寺の庚申塔 早川 正司
西上総の徳本名号塔 稲木 章宏
松戸の石仏(5)
石塔造立禁令について 入谷 雄二
安房石仏見学会より
中世の香りを醸す安房の石仏 大木 英雄
展覧会のご案内
鴨川の石造物百選展

◆赤米ニュース 東京赤米研究会
〒186-0005東京都国立市西3-7-29 アゼリ
ア国立Ⅱ101 長沢方 TEL042-577-6855

◇189 2012.12 B5 8p
おしらせ／おたより
兵庫県・京都府・岡山県・福島県
のとうほし田・たいとう田 菅野 郁雄
赤米雑話(145) 82 宮崎紘氏と
赤米試食会・つづき 長沢 利明
◇190 2013.1 B5 8p
おしらせ／おたより
愛知県のとうほし田・たいとう田
菅野 郁雄

赤米雑話(146) 82 宮崎紘氏と
赤米試食会・つづき 長沢 利明

◇191 2013.2 B5 8p
おしらせ／おたより
奈良県のとうほし田・たいとう田
菅野 郁雄

赤米雑話(147)
83 福井県の赤米・つづき 長沢 利明

◆足立史談
足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇538 2012.12 A4 4p
初荷を飾る 荻原ちとせ
戦前戦後の小右衛門町の思い出(1)

金井 富江
先駆けの「足立史談」(1) 矢沢幸一郎

◇539 2013.1 A4 4p
区制80周年記念収蔵資料展 あだ
ちの古文書大研究 平成25年1
月12日～3月3日
戦前戦後の小右衛門町の思い出(2)
金井 富江

特別展「足立の仏像」展によせて
円心をめぐる新たな驚き 香の
煙も絶え間なし お堂もあり年
二回の例祭、ご詠歌まであった
足立史談会

◇540 2013.2 A4 4p
保木間十三仏堂観音講 鈴木 志乃
縁故疎開ですごした北鹿浜町の想
い出(3) 鹿浜の椿分教場への
編入(1) 小川誠一郎

戦前戦後の小右衛門町の思い出(3)
金井 富江
江戸東郊 浪人由緒ミニ事典(5)
は行その2 郷土博物館

◆足立史談会だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇297 2012.12 A4 8p
平成24年炎天寺一茶まつり(第51
回) 炎天寺全国小中学生俳句
大会

合衆国首府「ワシントンの桜」(3)
桜の海外輸出を顧みて(2) 東
京都・昭和35年刊
足立区の登録文化財を観る 有形
文化財(古文書) 澗江之内ふけ

んしさん屋新田開発之事／渚江之内千住榎木新田開事／渚江之内大谷田新田開事／丑歳定免御年貢可納割付之事／永野家文書 15点

11月探訪 鷗外記念館と漱石旧居跡／盛大に江北美術展／一茶まつり(第51回) 炎天寺

「六部様」に代わりお礼申し上げます 220年も行き倒れの修業者を供養 三ヶ日町大谷・一色(足立史談会だより 第56号 平成4年11月15日)

回国修業者圓心がつないだ歴史と人のきずなに学ぶ 圓心を偲び今に伝わる人の暖かさを考える

11月23日 史談大学特別講座 報告1 三ヶ日町高栢寺の子授観音について 真田 尊光

報告2 回国修業者円心と六部 安藤 義雄

円心をめぐる新たな驚き 香の香りも絶えまなし お墓もあり、年二回の例祭、ご詠歌まであった

◇298 2013.1 A4 8p

新年明けましておめでとうございます

文化遺産を発掘し町おこしに寄与しよう 堀川 和夫

2月探訪案内 汐入・南千住へ 2月17日(日) 1時

合衆国首府「ワシントンの桜」(4) 桜の海外輸出を顧みて(3)／桜好きの親日家トリオ(1)

足立区の登録文化財を観る 有形文化財(書跡) 寺島家文書 1点／有形文化財(古文書) 下川家文書 2点、田辺家文書 1点、

横山家文書 1点、鈴木家文書 1点

区民教養講座「足立の庚申塔」 講師：関口崇史先生

文京区鷗外記念館界隈譚探訪より 観潮楼から森鷗外記念館へ 伊藤 博 千住のおえん様 相川謹之助 お獅子の口から手が出た

「先駆けの足立史談」第1号(昭和26年1月)から かもん宿と石出 掃部亮 加瀬 順一

舎人文化市／刊行物紹介

◇299 2013.2 A4 8p

新しい活動の展開を／会費の納入を！／史談会の本／3月探訪案内

合衆国首府「ワシントンの桜」(5) 昭和26年東京都刊 桜好きの親日家トリオ(2)／エリイザ・R・シドモア女史

足立区の文化財 有形文化財(古文書) 佐野家文書 17点、阿出川家文書 2点、応現寺文書 1点、織畑家文書 2点、清水家文書 1点

1月探訪案内 小石川七福神／雪中のじんがんなわ

先駆けの「足立史談」第1号から 明歴の大火とろう屋奉行(足立タイムズ第76号 昭和26.1掲載) 田邊彌太郎

先駆けの「足立史談」第2号から 綾瀬川と蛇橋の由来(足立タイムズ掲載) 加瀬 順一

見沼代用水(足立タイムズ所載) 羽田 栄太

御放鷹と板小屋(足立タイムズ所載) 瀬田隆三郎

伊興、舎人の史跡探訪 入本英太郎

◆あるむぜお

府中市文化振興財団 府中市郷土の森博物館 〒183-0026東京都府中市南町6-32 TEL042-368-7921 1987年創刊 www.fuchu-cpf.or.jp/museum/

◇102 2012.12 A4 8p

年中行事の現在 in 府中(3) どんと焼き 佐藤 智敬

展示会案内 特別展 江戸時代の多摩を掘る 2013/1/26(土)～ 3/10(日) 深澤 靖幸

NOTE カラスは都会の里山動物 中村 武史

知る人ぞ知る！府中ゆかりの人物 (7) 猿渡盛章 小野 一之

最近の発掘調査 古墳を見ながら 発掘体験 西府町二丁目 西野 善勝

町にまつわる雑学講座 一府中町・緑町 馬場 治子

◆板橋史談 板橋史談会 〒174-0076東京都板橋区上板橋2-30-7-104 TEL03-5398-2682 1966年創刊

◇274 2013.1 A5 33p

沖縄「久高島」考 一神の島をめぐって 小林 保男

向原の昔(3) 正月の行事 三原寿太郎

戦時中の遠足 若林 清

ひろば 下赤塚・野口庚申講 木村 榮作

ハケと板橋 猪瀬 尚志

田遊びが板橋に残ったのはなぜか 大澤 鷹邇

史談会のあゆみ(10月・11月)／短報 受贈図書目録(11月・12月) 事務局

◆縁 集いの広場 縁フォーラム 〒180-0023東京都武蔵野市境南町2-12-2-603 武蔵野エイトマンション 倉石美都方 2012年創刊

◇2 2013.1 A4 24p

現代漁村における「生きがい」 安藤 有希

身体伝承の分類 倉石 忠彦

民俗芸能における系譜意識研究 説 高久 舞

韓国の占いで未来を信じる(「現代韓国古い事情」) 倉石 美都

◆奥武蔵 奥武蔵研究会 〒169-0075東京都新宿区高田馬場2-10-12 加藤恒彦方

◇389 2013.1 B5 23p

奥武蔵研究会の責務とは 加藤 恒彦

奥武蔵・秩父の獅子舞(45) 一川角・八幡神社の暴れ獅子 関口 洋介

高山不動に墜ちた空の要塞 小泉 重光

12年度 河田賞／12年度 山行賞／12年度 集会賞

山行報告

会務報告／山行計画／集会案内

◆季刊 Collegio 之 潮 〒185-0021東京都国分寺市南町2-18-3-505 TEL042-328-1503 2005年創刊 www.collegio.jp

◇51 2012.12 B6 64p 300円

山の手台地北端部赤羽付近の地形 松田 磐余

高橋満氏にお目にかかった頃 清水 靖夫

フランス古地図音楽散歩(33) サンタンドレ・デザール教会 関根 敏子

東京電車線路物語(28) 豊澤便り(1) 小学生の頃 井口 悦男

せたがや中世拾い歩き(2) 楽市

のころ一統・世田谷新宿と矢倉
 沢往還 谷山 敦子
 縄文時代と地形
 品川区居木橋遺跡 安孫子昭二
 「帝都復興事業」にみる都市改造
 道路・橋梁・運河(6) 菅原 健二
 ロシア人が語る地球発見物語—
 『学習参考書地理学的発見の歴史』について(11) 佐々木路子

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会
 〒160-0012東京都新宿区南元町13-7
 TEL03-3355-4188

◇188 2013.1 B4 8p
 春を告げる大般若経の行列 東京
 都江戸川区東葛西 真蔵院・雷
 町会 雷不動の大般若 久保田裕道
 これからの催しもの案内 儀礼文化
 講座／儀礼文化セミナー
 レポート
 儀礼文化講座 11月10日(土)
 キリスト教「キリスト教の儀
 礼について」講師：竹内謙太
 郎 佐々木 寛
 儀礼文化セミナー 第7・8回
 11月17日～18日 茶道 お茶
 の郷博物館見学と志戸呂焼訪
 問 佐々木幸子
 第22回関西支部秋季学術大会
 12月2日(日)
 葵祭の名前について 山村 孝一
 松尾の葵祭 尾崎 俊廣
 玉依姫命—賀茂と松尾の関係
 中 將
 葵使について 宇野日出生
 特集 節分と追儼 鬼は～そと！
 福は～うち！ 春来る鬼 五條
 天神社の「うけらの神事」／方

相氏の悲劇／鬼を追い払う追儼
 ／マレピトとしての春来る鬼／
 アジアの視点から節分の鬼をみ
 る 久保田裕道
 一月 月ごとの歳事 渡辺良正の
 祭りスケッチ 静岡県 西浦の
 田楽／藤守の田遊び 渡辺 良正
 書 棚
 澤井真代著『石垣島川平の宗教
 儀礼—人・ことば・神—』 久保田裕道
 島田崇志編著『切り絵・細密画
 で楽しむ 京のまつり・年中
 行事』 後藤 正明
 宗教法人と税金(5)
 法人税 宗教法人の書類提出 空本 光弘
 ひろば 年画—春節を彩った中国
 家庭の民俗絵 楊 洋
 くらしひとこと 絵屏風の教え 小川 可楽
 新会員を募集／行ってみませんか
 ／新入会員

◆個人誌 散歩の手帖
 〒197-0023東京都福生市志茂113-2
 木村成生

◇17 2007.5 A5 28p
 オナガのいるところ、いたところ
 木村 成生
 ほっとすぺーす(45)
 キクイタダキは燃えている 木村 成生
 ほっとすぺーす(46)
 いなはいずの鳥がいる 木村 成生
 ほっとすぺーす(47)
 身近な「ヌエ」 木村 成生
 ほっとすぺーす(48)
 トラツグミの方言名 木村 成生
 ほっとすぺーす(49)
 茂吉のアマケラ 木村 成生
 今朝の鳥 木村 成生

◇18 2007.10 A5 28p
 時鳥と山芋 木村 成生
 「松雀」とはなにか 木村 成生
 ほっとすぺーす(50)
 羽黒山の白鷺 木村 成生
 ほっとすぺーす(51)
 アオサギはどこに立つか 木村 成生
 ほっとすぺーす(52)
 影こんこんと廻り 木村 成生
 「逆白波」について 木村 成生
 ◇19 2008.6 A5 28p
 因幡の兎は白いか 木村 成生
 奥十山美濃の山
 —「木曾」の語源について 木村 成生
 ほっとすぺーす(53)
 野鳥が逃げ出す距離 木村 成生
 数コラム(37) 70%
 アオサギの初年度の死亡率 木村 成生
 数コラム(38) 700羽
 ウズラの捕獲数、2004年度 木村 成生
 数コラム(39) 3658巣 野田の鷺
 山におけるサギ類の営巣数 木村 成生
 数コラム(40) 24種
 『古事記』にでる鳥 木村 成生
 数コラム(41) 185首
 長塚節の鳥の歌 木村 成生
 数コラム(42) 40種
 長塚節が詠った鳥 木村 成生
 数コラム(43) 8km
 一の谷と鶴越との距離 木村 成生
 今朝の鳥 木村 成生
 ◇20 2008.11 A5 28p
 因幡のワニはサメなのか 木村 成生
 草花丘陵とその周辺における野鳥
 の記録—抜粋 木村 成生
 ◇21 2009.6 A5 28p
 ほっとすぺーす(54)
 ぎりぎりまで逃げない 木村 成生

ほっとすぺーす(55)
 鳥刺と言う仕事 木村 成生
 ほっとすぺーす(56)
 鳥鷄にはかなわない 木村 成生
 ほっとすぺーす(57)
 さひづるや 木村 成生
 ほっとすぺーす(58)
 「クラ」と「カラ」 木村 成生
 ほっとすぺーす(59)
 ドバトのはるかな過去 木村 成生
 ほっとすぺーす(60) 鳩と軍 木村 成生
 ◇22 2009.12 A5 20p
 トビの聖性と零落 木村 成生
 ◇23 2010.10 A5 24p
 ホオジロは巫の鳥 木村 成生
 「あめつつ」はセグロセキレイ 木村 成生
 ◇24 2011.12 A5 76p
 銅鐸—埋められた太陽
 射日神話で解く起源と盛衰 木村 成生
 ◇25 2012.11 A5 59p
 勸進鳥の起源 第1部 鳥勸進から
 天岩屋戸神話へ—射日・招日神
 話の痕跡について 木村 成生

◆城郭だより 日本城郭史学会会報
 〒174-8691東京都板橋区 板橋北郵便局私
 書箱50号 1993年創刊

◇80 2013.1 A4 6p
 聚楽第本丸石垣が出土
 —本丸南側・凡そ32m分
 日本城郭史学会 催物・見学会・
 セミナー案内
 知られざる城郭遺構
 出羽松山城の構成
 平成25年度総会・大会のお知らせ
 最近の各地の城郭ニュースから
 (各地の新聞記事から) 多賀城
 政庁正殿の再調査／岩手 新館

遺跡から古代山城／群馬 田谷
遺跡に居館址／岐阜城居館址から金箔瓦／大内氏館址から四例目の庭園／松山城中之門「おとり」説否定
中野 拓大
期間限定ライトアップ
江戸城富士見櫓・伏見櫓
最近の注目される城郭関係図書から 八王子郷土資料館特別展解説書『八王子城』、松阪市教育委員会『国史跡 松坂城跡』
各地の城郭研究会活動から／80号にあたって／10月旅行見学会／11月見学会／12月セミナー・親睦会／事務局から／好評頒布中の報告書・出版物

◆書籍文化史 鈴木俊幸
〒192-0393東京都八王子市東中野742-1
中央大学文学部3833号室
Tel042-674-3789 2000年創刊
◇14 2013.1 A5 181+29p
書籍の文化と文字環境 岩坪 充雄
長野義言の稀観著作二種『かつみぶり』と『字音袖かがみ』とについて 中澤 伸弘
古活字版悉皆調査目録稿(4) 高木 浩明
山梨県明治期行政文書にみる出版関係史料(1) 磯部 敦
長野県行政文書より旧長野県書籍文化・メディア関連史料(5)
旧長野県翻刻教科書関係史料(中) 2012年度中央大学F L P 鈴木ゼミ
『増補改訂 近世書籍研究文献目録』補遺(6) 鈴木 俊幸

◆新西郊文化 新西郊文化研究会
〒168-0071東京都杉並区高井戸西3-11-7

2011年創刊
◇2 2012.12 A4 30p
東京都井の頭池周辺における阿玉台・勝坂式期居住形態の様相
中野 拓大
重鉱物組成と火山ガラス比による武蔵野台地の立川ローム層層序対比 矢作健二／橋本真紀夫
研究ノート
杉並区井草八幡宮所蔵の釣手土器の再検討 永瀬史人／中村耕作
高家今川家と知行所百姓の関係をめぐる一考察―伝承と史実のあいだ 野本 禎司
資料紹介
光明院出土の一石五輪塔 手塚 美穂
連載 杉並の考古学史(2)―若き考古学愛好家たちが活動を開始した 小田 静夫

◆杉並郷土史会史報
〒167-0022東京都杉並区下井草3-12-9
新村康敏方 1973年創刊
www.sugi-chiiki.com/rekishikai/
◇237 2013.1 A4 8p 400円
第485回例会記 武蔵府中くらやみ祭 歴史とネットワーク―杉並にも講中があった 小野一之先生 (新村)
都市近郊ムラの諸問題(6)
―武蔵国豊嶋郡角管村 速水 融
第482回例会記 平家物語に描かれた動乱をみつめた仏たち 貝瀬弘子先生 (大場)
年頭挨拶 新村 康敏
文化財保護条例施行三十周年記念シンポジウム

◆西郊民俗 西郊民俗談話会
〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1
大島方 年2000円 1957年創刊
www.l1.ocn.ne.jp/~oinari/
◇221 2012.12 B5 33p
旅籠の伽 佐々木哲哉
江戸周辺の八百比丘尼 大島 建彦
飛騨河合町(角川・稲越)における野兎の民俗―猟法その他にみる新資料 天野 武
中近世移行期における神楽と救済(下)―寛文四年栃木家能本を中心に 小原 清
パナンパ・ペナンパ民謡にみられる対称表現と調和(上) 大喜多紀明
狛江市の生業覚書(4) 長沢 利明

◆全日本郷土芸能協会会報
〒107-0052東京都港区赤坂6-7-14 パークハウス赤坂氷川102 Tel03-3583-8290
年2000円 1995年創刊 www.jfpaa.jp
◇70 2013.1 A4 24p
たいまつ押し
和歌山県伊佐郡かつらぎ町
年頭のご挨拶 中嶋 春洋
平成25年度事業予定／「那智の田楽」がユネスコ無形文化遺産に
東日本大震災・郷土芸能復興支援のプロジェクト事業 第15回全国子ども民俗芸能大会 第1回伝統文化継承フォーラム／専門委員 鎮谷和夫氏(大阪府在住)
「中国・苗族の農民画」の原画15点を全郷芸に寄贈
東日本大震災後の全郷芸と会員の動き 東日本大震災・郷土芸能復興支援のプロジェクト事業 助成第2次募集／第1次支援活動

報告
新年広告
スペイン・バレンシア神楽公演報告 佐々木昌延
第15回全国獅子舞フェスティバル 掛川 報告
寄稿 宮古島・島尻のパレントゥ 北河 直子
新年～春の芸能イベント情報2013
今回で12回目を迎えた、かながわ伝統芸能祭 地芝居2013 平成25年3月3日(日) 神奈川青少年センターホールで開催／「地芝居研修会・ワークショップ」のお知らせ
地芝居あれこれ(9) 芝居小屋を巡る―マレの会合宿2012「ぎふ芝居小屋巡りツアー」 蒲池 卓巳
地芝居探訪(44) 粟井春日歌舞伎／小森歌舞伎／渋谷歌舞伎／小鹿野歌舞伎／新城歌舞伎
地芝居公演情報 1月下旬～3月
民俗楽器(46)
フランスでの太鼓調査 山本 宏子
紙上講座(70) ことば(話芸)の力―落語と浪曲そして民謡 中坪 功雄
会員紹介(1) 大江戸助六太鼓
東京都 小林正道代表／津軽手踊り 弘前やまぶき会 青森県 石川真紀子代表
会員紹介(2) 三原やっさ踊り振興協議会 広島県 平田修己代表／植柳盆踊り保存会 熊本県 野崎陽子代表
檜立踊り保存会 「第4回宇喜多秀家☆フェス」出演／地域伝統芸能全国大会福島一ふるさとの祭り2012 寺崎はねこ踊り保存会

(宮城県)に今年度地域伝統芸能
大賞活用賞／北上市文化財活性化
実行委員会主催「第3回 秋
の子どもみちのく芸能まつり」
(全郷芸後援事業)／鬼柳鬼剣舞
発創70周年記念式典／石見神楽
全国発信計画in東京／マレの会
／郷土芸能STREAM

菟谷利夫前理事長遺稿・追悼集
「山河ありて」 大住 恭三
会員情報／郷土芸能なう!! (西嶋
一泰)／新入会員

BOOK良書紹介 「シシ踊り 鎮
魂供養の民俗」菊地和博著 (小
岩)、「宮本常一とあるいた昭和
の日本 (20) 祭と芸能」田村
善次郎・宮本千春監修 須藤功
編 (西田)

寄贈戴いた資料
2012年10月～12月

◆**大道芸通信** 日本大道芸・大道芸の会
〒157-0061東京都世田谷区北鳥山2-3-9-101
光田憲雄 TEL03-3307-2146
www.k5.dion.ne.jp/~daidoge/

◇**246** 2013.1 A4 2p 100円
香具師の内幕 ゴールド会社(2)
三統 二八蕎麦(3) 配合率のこと
◇**247** 2013.1 A4 2p 100円
浄瑠璃の系譜

◆**多摩地域史研究会会報**
〒207-0002東京都東大和市湖畔1-913-11
梶原方 1991年創刊
tamatiken.web.fc2.com

◇**105** 2013.1 B5 18p

第78回例会報告
戦国の軍隊と合戦 西股 総生

第79回例会 「史跡整備前の国分
寺跡を訪ねる」参加記 梶原 勝
第80回例会報告 多摩の中世城館
を歩くⅤ 霞川流域の小規模城
郭・今井城と藤橋城 西股 総生
多摩地域史研究会 第81回例会
多磨全生園見学会

◆**調布市郷土博物館だより**
〒182-0026東京都調布市小島町3-26-2
TEL042-481-7656 1978年創刊
◇**74** 2012.12 A4 8p
深大寺城跡第三郭を深大寺通り街
づくり協議会活動区域に追加 高野 千尋
資料紹介 古写真から見た京王線
開業百年 長瀬 衛
国産旅客機 YS-11 野外展示紹介
長瀬 衛
資料紹介 自転車競技と調布 平 自由
平成22年度事業報告／平成23年度
事業報告

◆**調布の文化財** 調布市郷土博物館
〒182-0026東京都調布市小島町3-26-2
TEL042-481-7656 1986年創刊
◇**48** 2012.12 A4 8p
市指定天然記念物「シロハナヤブ
ツバキ」の樹勢回復処置 赤城 高志
新指定の文化財「虎狛神社本殿」
1棟(附 棟札3枚) 長瀬 出
新指定の文化財「木造阿弥陀如来
坐像」1躯 立川 明子
新指定の文化財「上布田遺跡第2
地点4号敷石住居出土品一括」
13点 赤城 高志

◆**東京産業考古学会 NEWSLETTER**
〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403

多田統一方／〒352-0011埼玉県新座市野火
止4-8-43 柚須紘一方 FAX03-3964-8548
tias3.web.fc2.com
◇**98** 2013.1 A4 6p
行事予定
要塞を訪ねて―第一部(2) 来島砲
台―生き残った沿岸要塞 吉田 修
報告 見学会 多摩川水門
柚須紘一／奥原一三

2012年度第7回理事会の議事概要
／2012年度第8回理事会の議事
概要／関連団体情報(産業考古
学会 電気と機械分科会)／新入
会員紹介
博物館シリーズ(11) 現存する日
本最古のサイクロトロンイオ
ン加速器 小野田良智
エコプロダクツ2012開かれる 多田 統一
茨城県牛久市の赤煉瓦建築物(2)
「シャトーカミヤ(牛久シャト
ー)本館」(2) 八木 司郎

◆**練馬郷土史研究会会報**
〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31
吉越正博方 TEL03-3996-4454
1956年創刊
◇**343** 2013.1 A4 4p
練馬の城を往く(6)
練馬城(続きの3) 八巻 孝夫
昭和史雑感 昭和天皇と將軍達
(16) 真崎甚三郎(13) 鎌田 茂男
豊島氏関係史料を読む(16)
宮城氏の知行と軍役(2) 伊藤 一美
平成24年実施報告

◆**練馬古文書研究会会報**
〒177-0053東京都練馬区関町南4-15-3-603
鈴木方 TEL03-3920-3627 1985年創刊

www7b.biglobe.ne.jp/~tagame-y/
◇**49** 2012.12 B5 4p
近世武家官位制の成立(1) 保戸塚太地
高野山の“ねりま” 本橋 竹文
戸外学習報告 『小川家文書』関
覧と、旧小川村開祖・小川九郎
兵衛ゆかりの地を歩く 金光 洋
手嶋崇雄先生を悼む 長坂 淳子

◆**野 仏** 多摩石仏の会
〒190-0142東京都あきる野市伊奈933-3
多田治昭方 年5000円 1969年創刊
◇**43** 2012.7 B5 102p
八王子市の名号石仏 懸 敏夫
庚申塔ファイル(12)
関東地方の庚申真言塔 多田 治昭
東京多摩の後生車ちょこっと探訪
犬飼 康祐
ショウケラについて(3) 犬飼 康祐
多摩地区最古の在石工銘塔 佐野 泰道
石仏紹介(15)
髑髏を持つ地藏菩薩 多田 治昭
仏足石巡拝記(5) 関口 渉
八王子西部の馬頭観世音塔 島田 実
日野宿けんころ地蔵建立報告 加地 勝
日野の石仏(2)
百草村の領主が建てた庚申塔 加地 勝
石仏紹介(16) 猿顔の青面金剛 多田 治昭
秋田県十字町の石仏巡礼 水野 英世
陸奥古碑考について 五島公太郎
僧月舟について 佐野 泰道
文学散歩 石仏のある風景(20) 犬飼 康祐
石仏に見る大黒天と大國主命 犬飼 康祐
会のあゆみ

◆**法政人類学** 法政大学人類学研究会
〒186-0005東京都国立市西3-7-29
アゼリア国立Ⅱ101 長沢方 年2000円

◇90 2002.3 B5 19p
ケニアにおける民族意識と国民形
成一その歴史地理的考察(2) 河野 香
アミ族の成年式
—1994年夏の記録(12) 長沢 利明
ゼミ通信No.98
◇91 2002.6 B5 19p
群馬の犬伝承
—民間信仰落穂拾い(1) 井田 安雄
ケニアにおける民族意識と国民形
成一その歴史地理的考察(3) 河野 香
ゼミ通信No.99
◇92 2002.9 B5 19p
群馬の犬伝承
—民間信仰落穂拾い(2) 井田 安雄
月刊『文芸広場』と文化地理学 多田 統一
ゼミ通信No.100
◇93 2002.12 B5 19p
群馬の犬伝承
—民間信仰落穂拾い(3) 井田 安雄
アミ族の成年式
—1994年夏の記録(13) 長沢 利明
ゼミ通信No.101

◆民衆史研究 民衆史研究会

〒162-8644東京都新宿区戸山1-24-1
早稲田大学文学部 大日方研究室内
1962年創刊
◇84 2013.1 B5 68p 1500円
特集 近世琉球における民衆と社
会(2) 羽地仕置に見る近世琉球
の民衆と社会 矢野美沙子
天保後期における関東取締出役の
教諭政策 児玉 憲治
1930年代の筑豊における炭鉱経営
と朝鮮人の労働—麻生商店を事
例に 佐川 享平
研究ノート

西岡虎之助の神社史研究 徳永健太郎
書評 田中大喜著『中世武士団構
造の研究』 山野龍太郎
展示会批評 神奈川県立歴史博物
館特別展「再発見！鎌倉の中世」
大島 創

◆武蔵保谷村だより 高橋文太郎の『武蔵保
谷村郷土資料』を手掛かりに
下保谷の自然と文化を語る会
〒202-0004東京都西東京市下保谷3-18-3
高田賢方 TEL042-478-3820 2011年創刊
◇8 2013.1 A4 28p
民具研究事始めの頃—アチックの
高橋文太郎と宮本勢助 宮本 瑞夫
高田靖二氏の話—時代とともに
歩んだ農業の道を振り返って 高田 賢
戦時下の保谷の空爆被害—中島飛
行機武蔵製作所の影響下にあっ
た町の繁栄と被災 萩原 恵子
下保谷村データシート 近辻 喜一
下保谷村の松飾り 高橋 孝
下保谷村の松飾りと幕府の政策転
換 松尾 政司
自然と生きる 西東京市の主な屋
敷林(7) 中町・向台町・芝久
保町 小川 武廣
村人と信仰 下保谷の御嶽講 高橋 孝
Columu ここで生きていく 亀田 直美

◆厚木市史たより

〒243-0018神奈川県厚木市中町3-17-17
厚木市教育委員会文化財保護課
TEL046-225-2060 2010年創刊
◇6 2012.8 A4 8p
神奈川県立蘆検定所開設 (葉山)
元禄大地震とその被害 内藤 佳康
石造物から考える震災、戦争 大野 一郎

平成23年度 厚木市史歴史講演会
講演録 游相日記と厚木—渡辺
華山来游から百八十年 講師：
神崎彰利氏
近世資料編を読むために(4)
—一番古い年貢関係文書など 神崎 彰利
歴史講演会のお知らせ「都市と農
村の食文化—江戸時代を中心に
—」 講師：原田信男先生
◇7 2012.12 A4 8p
相模厚木停車場 (葉山)
登山1号墳と国道246号線 稲村 繁
清源院及び清源院文書について 藤野 泰造
◇8 2013.4 A4 8p
時の流れと厚木第一歩道橋 (葉山)
宝永地震と富士山噴火 内藤 佳康
平成24年度 厚木市歴史講演会講
演録 都市と農村の食文化—江
戸時代を中心に— 講師：原田
信男氏 (進本)
近世資料編を読むために(5)
—一番古い年貢関係文書など 神崎 彰利
歴史講演会のお知らせ(仮題)「関
東大震災と厚木市内各地の被
害」 講師：樋口雄一氏

◆小田原史談 小田原史談会

〒250-0003神奈川県小田原市東町1-21-18
平倉正方 TEL0465-34-8363
年3000円 1961年創刊
odawara-shidan.hustle.ne.jp
◇232 2013.1 A4 28p
初代は小田原藩の御料理番—小田
原駅前「ちん里う本店」話し
手・小峯達司さん 青木 良一
北原白秋の童謡教育と小田原時代
—唱歌教育から童謡教育への展
開と、童謡教育は子供から大人

までの人間教育 竹村 忠孝
みみづく寺の白秋さん 千葉 恵美
小田原藩浅田兄弟の敵討
『孝貞義鑑』散策(15) 鈴木 好
比叡山延暦寺・湖東三山史跡巡り
の旅 隠岐 明重
小田原の郷土史再発見 北条氏の
「小田原早川上水」と諸大名の
水道敷設 石井 啓文
小田原大秘録(巻一から巻三まで
の読み下し文) 第三回巻一の
三 鳥居泰一郎
思い出の映画にはどれも映画館の
記憶が染みついている 平倉 正
平成25年の年頭にあって 平倉 正
旅のつれづれ俳句日記 剣持 芳枝

◆湘南考古学同好会々報

〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-
19-104 寺田兼方方 1980年復刊
◇129 2012.12 B5 24p
「第30回藤沢市遺跡調査発表会」を
迎えて 寺田 兼方
「第30回藤沢市遺跡調査発表会」プ
ログラム／第30回藤沢市遺跡調
査発表会遺跡立地図／藤沢市埋
藏文化財発掘調査一覧表
記念講演 藤沢における考古学的
調査・研究のあゆみ 須田 英一
鵠沼南宮遺跡第1次調査 小池 聡
湘南考古学同好会の機関誌／新刊
報告書の紹介
村岡十二天東(Na30)・村岡十二天
西(Na52)遺跡の調査 菊川 英政
藤沢市北部第二(三地区)土地区画
整理事業区域内遺跡群 下土棚
大下地区第3地点・第4地点 中村 哲也
特別報告 西富貝塚(Na46遺跡)第

4次調査 伊藤郭／染谷七重

◆東海大学学園史ニュース
東海大学学園史資料センター
〒259-1292神奈川県平塚市北金目4-1-1
同窓会館2階 TEL0463-50-2450
www.v-tokai.ac.jp/shiryo_center/
◇7 2012.12 A4 24p
“歴史に貢献する”学園史資料センター 橋本 敏明
3大学統合後の資料整理―“現地保管庫”で進む収集・整理
学園史資料センター展示活動のあゆみ 馬場 弘臣
Double Decade of TOKAI 1993-2012 東海大学この20年
図解・東海VISTORY
学園シンボルマーク大全
Tokai Fashion Club 2nd meeting
付属相模高等学校 徳原 彩恵
東海あ〜かいぶす file6
もうひとりのマーメイド 目七 哲史
学園史資料センター Topics 学
園史資料のネット検索が可能に
先駆的なシステムを構築、寺崎
昌男氏を招き特別講演会を開催
12月13日湘南キャンパスで、展
示会「湘南さんぽ道」の第3弾
「中央通りたてもの編」を開催
／学園史資料センター日録（抄
録） 2011年4月～2012年3月

◆扣之帳 扣之帳刊行会
〒250-0021神奈川県小田原市早川60
青木良一方 TEL0465-22-8852
年2500円 2003年創刊
hikaenochou.world.coocan.jp/mysite/
◇38 2012.12 A5 100p 500円

小田原の近代づくり(上)
内なる力と外なる力 金原 左門
蒲生氏郷の正室・冬姫 今川 徳子
桜町仕法はなぜ継続されたのか(3) 尾上 武
酒匂だより 「晩秋」 町田紀美子
ネパールの美少女―昔前のインド・ネパール旅行 佐宗 欣二
ボクの映画館(18) ジャン・ギャパンを殺した二人の女 平倉 正
三好達治と小田原 岸 達志
歌舞伎を彩った人々(10) 三代目市川佐団次、十七代目市川羽左衛門 田中 豊
災害と文学―文学作品から東日本大震災を考える 村山 精二
山田町のブリ絵馬 西田 清三
爺じい日記(3) 「森の大地祭」 岡崎 伯
亀右衛門咄(14) 谷津村願修寺の井戸 青木 良一
始まりの人(最澄)中 茂木 光春
おけいのデンマーク遊学日記(2) 山浦 敬子
新刊紹介 『わが愛する明恵上人』(茂木光春)
映画案内／新九郎ギャラリー

◆民具マンスリー
神奈川県日本常民文化研究所
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL045-481-5661 年3500円 1968年創刊
◇537 (45-9) 2012.12 A5 24p 350円
伊豆諸島利島の女ショイコー大島・利島の肩縄及び頭縄負子事例(後) 織野 英史
民具短信 『会津農書』にみる「木
磐片縄引」について 佐々木長生
◇538 (45-10) 2013.1 A5 24p 350円
明治の農具絵図(2)

一明治五年三月の農具絵図 桂 眞幸
民具短信 神奈川県域のクルリ棒・ヨコオ・麦灯台について 鈴木 通大
アチック・ミュージアムの民具コレクション(36) 樋畑雪湖の妻
楊枝コレクション(3) 木村 裕樹
書籍紹介 『新八王子市史民俗調査報告書 第一集 八王子市西部地域 恩方の民俗』 神 かほり
◇539 (45-11) 2013.2 A5 24p 350円
『会津農書』にみる馬の民具 佐々木長生
工場制度の導入に伴う富岡製糸場の成長発展について―特に繰糸器(機)のスクラップ・アンド・ビルドについて 今井 幹夫

◆悠 久
鶴岡八幡宮悠久事務局(発売:おうふう)
〒248-0005神奈川県鎌倉市雪の下2-1-31
TEL0467-22-0315 1980年第2次創刊
◇129 2013.1 A5 108p 680円
《特集 天変地異・神仏と災害Ⅰ》
口絵 天変地異 近世以降の資料にみる地震と海嘯
エッセイ 鎮守の森と鎮守の海 畠山 重篤
特別寄稿
天災・人間・怒り・祈り 岡野 弘彦
論文
『古事記』神話の中の災害
一災いをもたらすモノ 谷口 雅博
上代の災害観と神仏 細井 浩志
中古の災害観と神仏 安田 政彦
中世の災害観と神仏 水野 章二
近世の災害観と神仏 北原 糸子
寄稿 災害と神社 佐々木美智代
口絵解説 天変地異 近世以降の資料にみる地震と海嘯
八幡宮紹介 廣八幡神社(和歌山

県有田郡広川町)
新刊紹介 『神社のいろは』『神社のおへそ』神社本庁監修

中 部	
-----	--

◆良寛だより 全国良寛会会報
〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262
1978年創刊
◇139 2013.1 A4 20p
良寛遺墨解説(97)「地震後作」 加藤 惇一新 良寛尊像つれづれ(1)
良寛像三体 坂田正次作 涌井 茂
折々の良寛(28)
良寛堂建立九十周年に思う 長谷川義明
秋の役員会開催される 加藤 惇一
平成25年度(第36回)全国良寛会
柏崎大会「予告」
柏崎大会 歓迎のことば
一逢ひたきものを 白倉 南雀
全国良寛会柏崎大会 記念講演
『はちすの露』と良寛 北原 保雄
全国良寛会柏崎大会 見学地ご案内(1) 釈迦堂跡／常福寺／不求庵跡
全国良寛会柏崎大会 見学地ご案内(2) 柏崎市立図書館「貞心
尼展」(仮題)／財団法人良寛記念館 出雲崎町へ事業譲渡 調
印式開催／良寛記念館 展示紹介 良寛さんをご紹介 平成25
年1月4日～4月25日
良寛堂建立九十周年記念事業を終えて 磯部友記雄
『狂言のおしえ 良寛のころ』
“月の兎”上演を終えて 齋藤美代子
良寛 冬鳥の詩歌 素描 吉田 福恵
「良寛さまとの出会い」と新木以南

新木 憲明
越後のこころ 「良寛さんに親し
む展」熱心な良寛ファンで賑わ
う
「良寛さんに親しむ展」の企画で
思ったこと 安達 武男
暢軒 村松の円融寺に遍澄訪ねる
藤田 正夫
無心にまりつきに興じる―第1回
良寛さんと手まりで遊ぼう大会
丸山 鐵彦
「ふるまち良寛手まり庵」開設―
周年 お蔭さまで8000人(10月
29日)を突破 宮迫 勇
『良寛・芭蕉の謎を解く 鉢叩き
の残像』によせて 平松 真一
トピックス 新刊紹介 『峠』 黛
信彦著／会報・会誌紹介

◆とやま民俗 富山民俗の会
〒930-0881富山県富山市安養坊56甲-1
富山市民俗資料館内
年3000円 1974年創刊
◇79 2013.1 A5 19p
利賀村奥大勘場民俗点描(7)―産
育、婚姻、葬送等の人生儀礼 森 俊
南砺地方の雪囲い、オーダレの生
産と集荷―福光・井口地区を中
心に 加藤 享子
談話室
バイガイの民俗 森 俊
苗加村斉藤家「所帯鏡」のあづ
き菜は、ナンテンハギ 加藤 享子
民俗の窓 会務報告・文献紹介・
受贈図書

◆日本学研究 金沢工業大学日本学研究所
〒921-8501石川県石川郡野々市町扇が丘

7-1 TEL076-248-1100 1998年創刊
◇15 2012.12 A5 224p
白山信仰研究の現状と課題(1)
―古代中世を中心として 平泉 隆房
明治期における皇室財産課税論議
―「地租ヲ課セザル土地ニ関ス
ル法律案」を中心に 川田 敬一
占領期「国有境内地処分法」の起草過程清水
節
研究ノート 比年之間考―重陽節
の停廃と復旧について(補遺) 村本 美春
史 料
熱田神宮編年史料(稿本)中世七
藤本 元啓
弘前市立弘前図書館所蔵『武教
小学師弁書』 秋山 一実

◆峡南の郷土 峡南郷土研究会
〒409-3601山梨県西八代郡市川三郷町市川
大門1790-3 市川三郷町教育委員会学術文
化係 TEL055-272-6094 1967年創刊
◇51 2011.7 A5 38p
巻頭言 郷土研究と郷土愛 中倉 茂
一通の文書 中倉 茂
小沢一仙関係者の作品と一仙の遺
跡を身延町内に尋ねて 樋泉 明
市川大門の一瀬姓について 依田 達
ほうえん様とその集落について 二宮 明雄
虎御前について 二宮 明雄
山梨の自然 山梨の生い立ち 松七五三一三
資料紹介 正傳寺所蔵身延山除暦
日唱上人開眼七面大明神画像に
ついて 沼田 晃佑
訃報(土橋通貴殿)
渡辺淳郎会長の追悼
平成22年度峡南郷土研究会会員名簿

◇52 2012.9 A5 56p ＊終刊
巻頭言 『峡南の郷土』誌終刊に

あたり 樋泉 明
峡南郷土研究会解散に寄せて 二宮 明雄
考察 市川の町と紙梳き 河西 密雄
八乙女神社考 立川善之助
市川大門の村松姓について 依田 達
特別寄稿
なぜ一仙は浮かばれないか 松本 晴雄
峡南地方(河内地方)の方言資料紹
介 笠井 充
内船歌舞伎 渡辺 修孝
駕籠訴一件 望月 武美
研修会報告 沼田 晃佑
特別寄稿 『峡中風流人海』所載
の辻孔夷について 荒木 幹雄
土屋夏五郎研究その後の報告 樋泉 明
平成24年度峡南郷土研究会
会員名簿

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所
〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145
TEL0265-53-4670 www.city.iida.lg.jp
◇61 2012.12 A4 4p
ガラス乾板写真からよみがえる50
年前の飯田・下伊那
「胡桃澤盛日記」第4巻 最新刊／
2012年度飯田歴研賞受賞 奨励
賞 著書 私の女学生の頃―女
学校・高等学校時代―
リレーエッセイ 第10回飯田市地
域史研究集会「地域と歩む教育
の歴史」から学んだこと 田嶋 一
上郷有線放送のデジタルデータ化
を進めています／飯田アカデミ
ア2012 第67講座／定例研究会
／公開歴史講座／地域史講座／
歴研ゼミナール／歴史研究所の
催事スケジュール／歴研日誌

◆伊 那 伊那史学会
〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
TEL0265-22-6017 年5500円
◇1015 (60-12) 2012.12 A5 50p 500円
口絵 焼き物の里
尾林にある陶製の墓 吉澤 健
地域の里山を考える―一座光寺の段
丘崖の森の変化と課題 小林 正明
下伊那の青年たちが招いた講師
―大正後期から昭和初期(1) 清水 迪夫
伊那谷の馬鳴菩薩信仰とオシラサ
マー蚕玉様信仰の一側面 岡田 正彦
史蹟を尋ねて緑の旗は行く
災害支援みちのくの旅―平泉・
遠野・多賀城跡と災害地 今牧 久
塩竈神社の宝燈 鎌倉 貞男
多賀城碑(壺の碑)
『奥の細道』に導かれて 熊谷 英彦
平泉と越前平泉寺 宮澤 利仁
伊那 第60巻総目次
◇1016 (61-1) 2013.1 A5 50p 500円
口絵 山吹の「カッチキ(刈敷き
木)並木」 橋都 正
「辰と龍」そして「龍江」 大原千和喜
神棚・お札 神村 透
伊豆木小笠原家の目安筐 久保田安正
伊那谷にも生息していた絶滅種
かわうそ 原田 望
絆―80年ぶりに「子守り」と再会
加藤真那生
私の歳時記―昭和初期の飯田町 依田 時子
遠野に学ぶ 山内 尚巳
下伊那日録(2007年12月～2008年
5月)
◇1017 (61-2) 2013.2 A5 50p 500円
口絵 ニホンオオカミの頭骨 北城 節雄
畝町地名考(上)
―大島城下の事例をもとに 宮澤 恒之

下伊那の青年たちが招いた講師
 一大正後期から昭和初期(2) 清水 迪夫
 風越山白山社奥社に伊勢屋久兵衛
 が奉納した額絵の訥齋とは一禁
 裏御用絵師・野村訥齋 原田 望
 郷土出身の高僧 海侃大僧都 林 登美人
 忘れられた文人福田静庵の来峡 桃澤 匡行
 虹(光)雲寺の今・昔
 一里人の心の拠りどころ 大原千和喜

◆伊那路 上伊那郷土研究会
 〒396-0021長野県伊那市小沢7799-2
 TEL0265-78-6719 年5000円
 ◇671 (56-12) 2012.12 A5 48p 500円
 《広域特集号》
 3.11東日本大震災ボランティア報
 告(エピソード綴り) 若林 敏明
 高遠石工福島県作品 北原多喜夫
 第37回上伊那歴史研究会県外実地
 踏査報告「福島県と上伊那と
 のつながりを探る」
 福島県への旅 田村 栄作
 土津神社を訪ねて 星野 正明
 高遠石工旅稼ぎ 竹若 康雄
 南相馬市を訪ねて 新井 幸徳
 相馬市の今を見て 内藤りつ子
 車窓から見た飯館村 下平 哲
 県外実地踏査に初めて参加して
 春日 宏之
 福島地方研修旅行に参加して 橋爪 平治
 高山の植物(5)
 踊り子のような花々 田中 茂
 文化短信
 伊那谷の清流と森を訪ねて 山本 勝
 考古あれこれ(19) シコロ状装具
 を付けた黄泉国への使者 田中 清文
 師匠の背中(2)より(50)
 師匠の教え正に健在 若林 徹男

『伊那路』第56巻総目次 上伊那郷土史研究会
 ◇672 (57-1) 2013.1 A5 40p 500円
 明けましておめでとうございます
 林式部一戦国時代伊那市山寺に居
 住した地侍 林 洋一
 上総国に仁科五郎の末裔を尋ねて
 山岸 貢
 短歌 破袋大黒柱鬼の首(2) 野溝 直人
 『長野県町村誌』に記載された天
 狗党武田耕雲斎と藤田小五郎の
 詩歌 矢澤 喬治
 思い出の人・思い出の事(10)
 犬塚利國氏(古美術商) 桃澤 匡行
 昭和30年代の山間集落の暮らし
 一中川村銭 有賀 直雄
 文化短信 高齢者と協働による花
 咲く郷環境づくり 山口 通之
 古文書の窓(109) 順礼の途次、
 娘を残し土佐にて死亡 下平すみ子
 師匠の背中(2)より(51) 年の瀬 若林 徹男
 ◇673 (57-2) 2013.2 A5 40p 500円
 《「上伊那郷土研究交流の集い」特集号》
 南箕輪村のお宝一考古資料の紹介
 友松 瑞豊
 鳥居のいしずえ ここにあり
 一御射山社考察 北原 正
 水を求めた村人一南箕輪 松澤英太郎
 「第13回上伊那郷土研究交流の集い」
 報告 山本 勝
 「上伊那郷土研究交流の集い」に
 参加して 倉田 保
 「上伊那郷土研究交流の集い」に
 参加して 片山 徹
 「第13回上伊那郷土研究交流の集
 い」に参加して 清水 稔
 南アルプス開拓の父『竹澤長衛物
 語』を読んで 唐木 勉
 春近神社の歴史と祭典「巫女」選

びの思い出 北原 昌弘
 日本の子育て(1)
 にらめっこしましょ 大槻 武治
 馬と猿との怪しげな関係 田口 計介
 お茶(間食)出し(連作短歌(2)) 有賀 功
 高山の植物(6)
 岩場に映える小さな鐘 田中 茂
 文化短信 常輪寺に鐘楼完成 清水 満
 師匠の背中(2)より(52)
 仕来り(風習) 若林 徹男
 伊那市創造館逸品展(6)
 中川紀元展の案内

◆伊那民俗
 柳田国男記念伊那民俗学研究所
 〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
 飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118
 年3000円 1990年創刊
 ◇91 2012.12 B5 8p
 来迎寺節分会の福ます／白雲山来
 迎寺の節分会 今井 啓
 飯田の寺町と仏教会 今井 啓
 報告 『信州随筆』パネル展
 一柳田没後50年記念企画 宮下 英美
 お知らせ 所報『伊那民俗』1～
 50号合冊版発行
 柳田国男の『信州随筆』研究(23)
 「青へばの木」の現在 折山 邦彦
 伊那近代思想史研究会(34)
 知らなかった伊那谷の思想史 北川 稔夫
 研究所部会活動案内／事務局だよ
 り／美博だより

◆史学 義仲 木曾義仲史学会
 〒390-1401長野県松本市波田5904-5
 千村清文方 TEL0263-92-6815 年3500円
 1999年創刊 shigakukai.hyu.jp
 ◇14 2013.1 A5 119p

木曾宣公舊里碑について 今井 弘幸
 清水義高探訪 志村 平治
 義仲マメ知識 世田谷区にある帯
 刀先生義賢の墓 (千村)
 源義仲一郷土史の観点から 高橋 和彦
 一口メモ
 埼玉県上里町にある義賢の墓 (千村)
 義仲軍団の崩壊 高坪 守男
 義仲マメ知識 六合の義仲伝承 (千村)
 木曾義仲の生きた時代の詳細年表
 今井 弘幸

◆信濃 信濃史学会
 〒390-0805長野県松本市清水1-9-607
 TEL0263-36-1785 年8400円
 www.shinano-shigakukai.jp
 ◇755 (64-12) 2012.12 A5 86p 900円
 《中世特集「東国信濃の鎌倉時代」》
 『一遍聖絵』の牧牛 中澤 克昭
 御家人・得宗被官としての小笠原
 氏一鎌倉後期長忠系小笠原氏を
 題材に 鈴木 由美
 御内人諏訪直姓・長崎円喜の俗名
 について 細川 重男
 鎌倉時代の「款状」とその機能 村石 正行
 信濃に見る縄文漁撈 桐原 健
 史料紹介 高野山蓮華院『真田御
 一家過去帳』(下) 丸島 和洋
 『信濃』第64巻総目次
 ◇756 (65-1) 2013.1 A5 92p 900円
 《民俗学特集号》
 近世在方大工と信州の伝説一刻ま
 れた伝説、命を宿した彫刻 伊藤 友久
 九州における地面を叩く年中行事
 一期日と用具について 三輪 京子
 『伊勢物語』『梓弓の弓つき弓』の
 歌の背景一庶民の生活にふれて
 稲川 恒

研究ノート 「コジキ」の話、そして「実験考古学」構想—福島県いわき市平の事例から 石井 克玖
地域と世界史をつなぐ 小川 幸司
碓氷峠道の変遷(上)
一尾根道からトラバース道へ 江川 良武
◇757 (65-2) 2013.2 A5 84p 900円
《小特集 それぞれの戦国時代観》
社会科教育における「戦国時代」・「戦国大名」—歴史教育と歴史研究をつなぐ 竹田 和夫
戦国期における在地の躍動 宮島 義和
戦国時代ブームと戦国時代感のあり方 宮島 智広
保科正之の「御目見」をめぐる一保科正之は徳川秀忠に「御目見」していない 小池 進
推論・信濃の屯倉と蘇我氏 桐原 健

◆長野 長野郷土史研究会
〒380-0905長野市七瀬南部14-7
TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊
www.janis.or.jp/users/kyodoshi/
◇286 2012.12 A5 48p 500円
口絵 長野駅前のは姫像の移転
一茶『句稿消息』の写し 矢羽 勝幸
現代におけるコモンス的労働環境の創造について—長野市権藤パブリックススペースOPENの事例から 山貝 征典
夏目漱石と信州(1)
漱石と桐生悠々 中田 敬三
上杉謙信—独鈷と雲と朱の大盆と 土井 重男
善光寺平の方言集(1) 北村俊治／小林一郎編
米軍機が撒いた対日宣伝ビラ 田中 義一
私たちの会のあゆみ／クイズに挑戦

◆長野県民俗の会会報
〒390-0851長野県松本市島内3427-45
小原稔方 年5000円 1978年創刊
www.k2.dion.ne.jp/~folklore/
◇34 2012.12 A5 85p
日本人の性器認識 倉石 忠彦
近世から近代にかけての上巳節句
贈答の変遷—筑摩郡大池村の場合 小野 和英
仏葬から神葬祭へ—松本藩の魔仏
毀釈時の改典へ 小松 芳郎
変わりゆく安曇野のマチの祭祀伝承—市神と道祖神 高原 正文
千曲川の伝統漁法・ツケバ漁 西澤 一富
特集 長野県民俗の会40周年によせて
40周年に寄せて 福澤 昭司
長野県民俗の会と私 田澤 直人
壊す・棄てる 桐原 健
塩の道の在り方 胡桃沢勘司
私的「長野県民俗の会」前史 倉石 忠彦
長野県から日本の民俗学へ 福田アジオ

◆長野県民俗の会通信
〒390-0851長野県松本市島内3427-45
小原稔方 年5000円
www.k2.dion.ne.jp/~folklore/
◇233 2013.1 B5 8p
「民俗学者」竹之内春彦(前)
一世間の見た民俗学研究者像 倉石 忠彦
湧水地帯の諸様相(1)—松本藩の御狩場にもなった「けみ」地帯 重野 昭茂
葉書でつぶやくコーナー
「土葬と火葬と」のその後 福澤 昭司
平成24年度総会の概要報告

◆ふきはら ふきはら文化の会
〒399-4603長野県上伊那郡箕輪町三日町2243 TEL0265-79-1601 2009年創刊
◇16 2013.1 A5 117p 500円
国民学校の頃 小田切藤彦
思い出す事など 近藤 光也
土塊抄 原 孝壽
『保科正之公』出版まで 春日 正明
睡眠時無呼吸症候群 毛利のりお
シーゾー犬の魅力にみせられて15年 ラ・ボム
もうひとりの美空ひばりさん 小沢さとし
短歌 りんごづくりの歌(1) 井澤 通治
自選百句 近藤山潤子
でも足も出ないダルマに巳から出た蛇 橋爪まんぷ
私俳句 奥原 孝雄
みちのくの旅から 岡 久幸
葉なし草 赤羽 康男
加藤さゆり副知事と語る 荻原 弥生
「もう半分」という噺 西村 重治
Haiku 岡 久幸
耳なし千次(上) 大槻 武治
コラム おもしろかつば館／桃山文化とは／何蛇者蛇の案内まんがカレンダー／江戸の地名について／昔話「口も底もなし壺」

◆美文会報 美濃文化財研究会
〒509-0314岐阜県加茂郡川辺町福島564
横山良彦方 TEL0574-53-4205
◇503 (12-11) 2012.11 B5 6p 500円
小牧長久手の戦いの羽黒合戦 星野 邦和
中山道鶴沼宿について 横山 住雄
◇504 (13-1) 2013.1 B5 8p 500円
江戸時代の石造物建立と当時の郷土研究 安藤 弘文
星光堂呉服店の年忌証文を発見 星野 邦和

土岐市ゆかりの堅室宗忍信女の新史料出現 横山 住雄

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会
民俗文化研究所
〒438-0086静岡県磐田市見付3532
TEL0538-32-3546 2007年創刊
www4.tokai.or.jp/child-c.jp/
◇67 2012.12 A4 4p
鳴滝了徳寺の親鸞聖人ゆかりの大根焚 吉川 祐子
寄贈資料紹介
◇68 2013.1 A4 4p
百太夫神社のゑびす回し 吉川 祐子
◇69 2013.2 A4 4p
袋井市法多山の田遊び 吉川 祐子

◆静岡県近代史研究会会報
〒422-8529静岡市駿河区大谷836
静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室
年4000円
◇411 2012.12 B5 4p 200円
12月例会レジュメ 人権の戦後史
—1950年代を中心に 橋本 誠一
「駿河療養所」は入っているか！
—『私の履歴書』を読んで 小池 善之
地方史研究協議会(東京)大会参加記 川上 努
例会のお知らせ
◇412 2013.1 B5 4p 200円
1月例会レジュメ 森鷗外史伝『渋江抽斎』のなかの「渋江保」—浜松瞬養学校教頭・結婚・東海晝鐘新報・渋江塾などの実態を探る 尾崎 朝子
資料紹介 静岡県最初のハンセン病医療施設 小池 善之
県史編さんの担当になって(1) 川上 努

中川弘さん御逝去 村瀬 隆彦
 例会のお知らせ
 ◇413 2013.2 B5 4p 200円
 2月例会レジュメ 疎開と地域社会戦時体制、そして本土決戦へ
 一條 三子
 12月例会報告 橋本 誠一
 会誌(第38号)原稿を募集します
 論文紹介 小田部雄次氏「静岡県
 の明治天皇聖蹟」、松本晴雄氏
 「なぜ一仙は浮かばれないのか」
 村瀬 隆彦
 事務局より／例会のお知らせ

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区洪川1-9-6-101
 松田香代子方
 homepage3.nifty.com/s-folklore/
 ◇146 2013.1 A4 6p
 2013年 年頭のご挨拶 大嶋 善孝
 第2回例会&第6回卒業論文発表会
 ・相談会
 ご報告 吉川祐子氏『西浦田楽の
 民俗文化論』で平成24年度本田
 安次賞受賞
 11月例会報告
 祭礼や神事で舞いなどに携わる人
 に土を踏ませないこと 渡辺 好洋
 静岡の民俗語彙・方言短信
 キショッパリ／ボタ 外立ますみ
 博物館情報／受贈図書・刊行物紹介

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1
 TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp
 ◇237 2012.12 A5 24p
 年頭のご挨拶 小串 和夫

熱田社の和歌と文学(38)―牟田高
 惇『諸国廻歴日録』の場合 八木意知男
 紀行文に見る熱田宮―村上忠順所
 蔵『長崎紀行』より 辻村 全弘
 お知らせ／創祀千九百年に関わる
 祭典並びに記念行事の予定につ
 いて／社頭だより／献詠祭／日
 誌抄

◆鉄砲史研究 日本鉄砲史学会

〒441-1305愛知県新城市武広字信玄原552
 新城市設楽歴史史料館内 湯浅大司気付
 TEL0536-22-0673 年10000円 1968年創刊
 ◇374 2012.12 A4 68p 1000円
 計報 鈴木輝彦氏のご冥福を祈る
 中原 正二
 幕末佐賀藩における銃鉄砲の試射
 記録 前田 達男
 幕末の海防と反射炉・中小坂鉄山
 原田 喬

安乗神社の銃鉄大砲 中江秀雄／峯田元治
 ／岡崎清／安井純一

青森・弘前例会特集

日本鉄砲史学会青森・弘前地方
 例会 須川 薫雄
 浪岡城の概要と歴史等 木村 浩一
 幕末・津軽藩の海防と和洋砲術
 の展開 宇田川武久
 青森県、岩手県の古式銃登録に
 ついて 須川 薫雄
 津軽の変遷と浪岡城落城400年 平泉喜久郎
 例会記録 開催要項 風林火山
 の軍旗・森重流古式砲術演舞
 について

◆まつり まつり同好会

〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
 TEL0567-37-0441 年5000円 1961年創刊

◇74 2012.12 A5 92p 1800円
 《特集 記録・伝承と民俗芸能》
 越中・越後の稚児舞楽 水原 渭江
 近世の神事芸能・花祭―花祭の近
 世後期における転形について 井上 隆弘
 津島天王祭りの巻き藁風流とその
 展開 黒田 幹夫
 瘤取り 爺と田楽法師―宮沢賢治
 「鹿踊りのはじまり」に及びな
 がら 橋本 裕之

◆まつり通信 まつり同好会

〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
 TEL0567-37-0441 年5000円
 ◇563 (53-1) 2013.1 B5 8p 600円
 新年おめでとうございます／1・2
 月の見学会
 新刊紹介 西浦田楽の民俗文化論
 吉川祐子著
 鳴海祭りの狸々 大島 建彦
 山名神社祇園祭舞楽の記録 鷲野 正昭
 菅生の組立舞台(2) 北河 直子

続新刊紹介 民俗の行方―山陰の
 フィールドから 山陰民俗学会
 編／わが国における地域の伝統
 文化 平成13年度～平成22年度
 助成先のあらまし 公益財団法人
 明治安田クオリティオブライ
 フ文化財団編

2月のまつり／3月のまつり

2月のまつり／3月のまつり

2月のまつり／3月のまつり

2月のまつり／3月のまつり

2月のまつり／3月のまつり

2月のまつり／3月のまつり

2月のまつり／3月のまつり

2月のまつり／3月のまつり

2月のまつり／3月のまつり

小幡ヶ原名古屋飛行学校(1)
 一学校開設まで 伊東 重光
 続吉根維考 徳田百合子
 メル友Nくん 西尾 春子
 資料紹介
 小幡村御觸留(24)
 一明治六年御用留(4) 守山古文書の会
 下志段味村加藤公生家文書(2) 道木 正信
 小幡瀧本婦志家文書 道木 正信
 守山郷土史研究会の歩み(32)

守山郷土史研究会
 平成24年度中社古墳発掘調査現地
 説明会資料 守山郷土史研究会
 変貌する瀬戸線(4) 荒川 康彦

◆史料 皇學館大学史料編纂所報

〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
 TEL0596-22-6462 1978年創刊
 ◇236 2012.12 B5 8p 300円
 『経国集』対策の新羅観―天平宝
 字元年紀真象対策より 遠藤 慶太
 いにしへの伊勢(15)―絵葉書・古
 写真に見る戦前の宇治山田 山田 修司

近畿

◆湖国と文化 (財)滋賀県文化振興事業団

〒520-0044滋賀県大津市京町3-4-22
 TEL077-522-8369 年2520円 1977年創刊
 www.shiga-bunshin.or.jp

◇142 (37-1) 2013.1 B5 92p 600円

《特集 自然随順》

花 その花がどんな場所に咲いて
 いるのか 近江の山と花 私の
 こだわり 山本 武人
 龍谷の森 谷垣 岳人
 吐匠壽庵 野の花観音經 丹澤 愛継
 琵琶湖ホテル
 山野草プロジェクト 本荘由美子

自然随順のふるさと 澄んだ空気
と穏やかな笑顔に癒される 障
害者・健常者がともに暮らす自
然随順の里・大萩茗荷村
四季をめぐる健康食 冬編
食で寒さに打ち勝つ 武田 律子
談話室(11) 鳥と共にある暮らし
人と鳥の距離が妙に近い滋賀
鳥の視点になると世界が変わる
村尾 嘉彦
トチノキの里で考える(4) 冬の
トチノキ 地域で生き、飢饉の
年も人々の命をつなぐ 雪の山
で圧倒的な存在感を誇るトチノ
キ 青木 繁
インタビュー・湖と生きる(4)
千日回峰行者 水光圓道さん(37)
植田 耕司
いまどきの“元気なお寺”見聞(6)
東近江市川合寺町 西蓮寺 江
戸中期、桜を描き続けた女流画
人 織田瑟々 毎春、「桜画」
を公開し、地域を結ぶ核に
辻村琴美／辻村耕司
近江の水をめぐる(1)
全体の水・固有の水 石川 亮
滋賀文化事情
chapter1 「仰木と地藏プロジ
ェクト」 お地藏様をきっか
けに人と人の結びつきを紡ぐ
谷本 研
chapter2 芸術の秋・文化の秋
県文化振興課・編集室
近江人物伝(14) 木内石亭 30年
間で集めた奇石・珍石二千余集
大成し、石の指南書を次々と刊
行 考古学史上まれな「石の長
者」 木村 至宏

カラーグラビア
近江の山と花 山本 武人
郷(さと)紀行 冬 長井 泰彦
近江植物記 江南 和幸
三上山風便り 八田 正文
おわび紙と書と言葉(5) 増田 洲明
シリーズ「琵琶湖世界の地域デザ
イン」(5完) 歴史遺産活用の可
能性を高め琵琶湖世界の持続を
図る 山崎 一眞
現代滋賀ブランド(10) ヨシ茸き
湖国の風景に溶け込んだ風物詩
材料難と維持の難しさが壁 植田 耕司
おうみ(近江)おうみ(多見)歩く(8)
甲賀の里 加藤 賢治
北から南から
町屋の二階から大津祭を観る 山田 勝彦
小中学生が幻想的な多羅尾太鼓
踊り 野口 観道
翦風号が物語る旧八日市飛行場
門野 昇二
思い出の写真に涙ぐむ人も
今津で懐かしの江若鉄道展 熊谷 もも
希望の虹が表現されたオブジェ
展、信楽で 赤尾 和美
棚田と琵琶湖の秋景を楽しむ 長井 泰彦
ニュースの小箱 ゆるキャラブー
ム、依然健在 8万8千人の人出
でにぎわう／お寺の本堂で狂言
「釣狐」を鑑賞 狐塚がある甲
良町の勝楽寺で／志賀越えて芭
蕉の心境味わう／輪蔵を回して
御利益を願う 三井寺の一切経
蔵で珍しい取り組み
シリーズ 一等三角点の山と私(3)
琵琶湖と周囲の山が一望
蓬萊山 佐藤 勇夫
歴史とロマンの山 雪野山 今村由紀子

歴史文書は語る 県政史料室から
(6) 植林 滋賀県の植林事業
と山檀 生嶋 輝美
外国人が観る滋賀 異文化交流
(3)完 学校訪問 交流を求め
て積極的に来県 年末に県立三
校が台湾へ修学旅行 編集室
◆彦根城博物館だより
〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1
TEL0749-22-6100 1988年創刊
longlife.city.hikone.shiga.jp/museum/
◇99 2012.12 A4 4p
資料紹介 掛直垂 黒地四季草花
の熨斗札 散らし文様に鶴亀紋
当館蔵 茨木 恵美
展示案内 12月～3月 テーマ展
11/30～12/22 展示室1 人権
学習シリーズ10 彦根藩のさま
ざまな武士―江戸時代の社会と
身分／テーマ展 1/1～1/29
展示室1 新年の寿ぎ―吉祥の
デザイン／テーマ展 2/1～3/5
展示室1 雛と雛道具／テーマ
展 3/8～4/9 展示室1 直弼
発見! 直弼と大名の交流
催し 入門講座 彦根藩の歴史―
歴代の彦根藩主／利用案内／ス
ケジュール
研究余録 金亀玉鶴
彦根藩士の生活史 渡辺 恒一
◆民俗文化 滋賀民俗学会
〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5
TEL0740-36-1414 年4800円 1963年創刊
sigaminzoku.fc2web.com
◇591 2012.12 B5 14p 400円
七と十一の文化(1)

日本の七文化の系譜 長谷川博美
近江・源平興亡の残照(4)
一平経正の琵琶 馬場杉右衛門
「おみくじ掛け」について 粕渕 宏昭
「あか(湊)取り」について 粕渕 宏昭
滋賀の石造文化財(中世)の概観に
ついて(28) 福澤 邦夫
殿様を追慕して随行した寺院(後)
一兵庫県たつの市・善龍寺 奥山 芳夫
奇縁「氷入石」について 関 啓司
腕章(狩猟)の思い出話 西浦 左門
第二次大戦中における「やぐら」
の転用について―横浜市金沢区
大喜多紀明
講談師 旭堂南陵(二代目)の聞き
書き一代記(20) 菅沼晃次郎
第595回例会案内
民俗文化 第580号～591号
総目次(48)
◇592 2013.1 B5 12p 400円
地球は一つなのに人類はなぜ争う
のか―民族の歴史と生活環境を
認識しよう 菅沼晃次郎
七と十一の文化(2)
七と十一の文化起源 長谷川博美
近江・源平興亡の残照(5)
一祇王と祇女 馬場杉右衛門
新訳「石山軍記」抄(1) 馬場杉右衛門
滋賀の石造文化財(中世)の概観に
ついて(29) 福澤 邦夫
失われてしまった大人神輿
一横浜市金沢区釜利谷郷 大喜多紀明
山村のこぼれ話 出師営の会見 西浦 左門
恵方巻きについて 粕渕 宏昭
黒パンについて 粕渕 宏昭
靴べらについて 粕渕 宏昭
講談師 旭堂南陵(二代目)の聞き
書き一代記(21) 菅沼晃次郎

◇593 2013.2 B5 12p 400円
 七と十一の文化(3)
 七文化と六文化 長谷川博美
 近江・源平興亡の残照(6)
 一朝妻舟哀歌 馬場杉右衛門
 新訳「石山軍記」抄(2) 馬場杉右衛門
 長浜八幡宮境内の「包丁塚」につ
 いてー長浜市宮前町 粕渕 宏昭
 ジュラルミン製の箕について 粕渕 宏昭
 滋賀の石造文化財(中世)の概観に
 ついて(30) 香炉岡弥勒石仏 福澤 邦夫
 赤土壁に残る戦争の傷跡
 ー京都府丹波地区 西浦 左門
 日月社の扁額ー横浜市金沢区 大喜多紀明
 講談師 旭堂南陵(二代目)の聞き
 書き一代記(22) 菅沼晃次郎
 第597回例会案内

◆京都市政史編さん通信

京都市市政史編さん委員会
 〒602-0867京都市上京区寺町通丸太町上る
 松蔭町138-1 京都市歴史資料館内
 TEL075-241-4312 1999年創刊
 city.kyoto.jp/somu/rekishi/

◇44 2012.12 A4 8p
 京都市都市計画事業の一九二一年
 前半(下)ー河原町通拡築か木屋
 町通か 伊藤 之雄
 歴史資料館だより 重要文化財指
 定記念「八瀬童子一天皇と里人
 ー」展の開催について／編さん
 だより

◆古代史の海 「古代史の海」の会

〒615-8194京都市西京区川島栗田町22
 中村修方 FAX075-392-3743
 年4000円 1995年創刊
 www.k5.dion.ne.jp/~pan/kodaishinoumi/

◇70 2012.12 A5 96p 1500円
 巻頭言 対馬に行く 半沢 英一
 蘇我氏と『金光明経』 河越 尚司
 武光誠『テラスで読む邪馬台国の
 謎』を読む 中村 修
 「邪馬台国論争」の新視点と新視野
 山中 光一
 会員ひろば
 広瀬勾原の阜衣 渡部 正路
 アンデス通信(23) 市木 尚利
 新刊紹介 中村修『乙訓の原像
 ・続編』 上遠野浩一
 『乙訓の原像・続編』の感想 中村 修
 方位論再考 I ー拙稿へのコメント
 に触発されて 尾関 章
 「訛」と「語」のあいだ 長野 靖
 「ワニ考」追補 野田 昌夫
 卑弥呼の郷? 齊明天皇朝倉宮伝
 承地 朝倉市を訪ねて 河野 宏文

◆史迹と美術 史迹美術同致会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入
 西大路町146 中西ビル内
 FAX075-441-3159 年8000円 1930年創刊

◇830 (82-10) 2012.12 A5 34 915円
 飛雲閣を探して(5)
 「飛雲閣」とは何か 加藤 繁生
 日本の塔百選(10)
 延暦寺横川根本如法塔他 中西 亨
 風水説と妖怪学 寺本 健三
 第975回例会 民家博・勝尾寺と
 豊能町の文化財を訪ねて 松永 修輔
 本会顧問川上貢先生の御逝去を悼
 んで 中西 亨
 新刊紹介『大田区の板碑集録』(東
 京都大田区教育委員会編)、『石
 川町史』第一巻 通史編 I 〈原
 始・古代・中世・近世〉(石川

町町史編纂室編) 村田 和義
 「石造美術勉強会」のおしらせ
 第82輯(821~830号)総合目録
 ◇831 (83-1) 2013.1 A5 34p 915円
 江戸の銅仏
 ー失われた鋳物師を求めて 石塚 雄三
 日本の塔百選(11)
 園城寺(三井寺)三重塔 中西 亨
 飛雲閣を探して(6)
 飛雲閣の生まれた場所(上) 加藤 繁生
 第976回例会 滋賀県甲賀市、水
 口町・甲南町の文化財 品角阿止美
 ◇832 (83-2) 2013.2 A5 34p 915円
 口絵 近江南部の石造宝塔
 飛雲閣を探して(6)
 飛雲閣の生まれた場所(下) 加藤 繁生
 風水研究(7) 敦煌文書『司馬頭
 陀地脉訣』和訳(上) 寺本 健三
 日本の塔百選(12) 石山寺多宝塔
 中西 亨
 第977回例会 岐阜県・八尾津・可
 児市の仏像 岩崎 幸一
 第35回 総会報告
 2012年度「石造美術勉強会」報告
 品角阿止美
 「石造美術勉強会」のおしらせ
 口絵写真解説
 近江南部の石造宝塔 中西 亨

◆史談福智山 福知山史談会

〒620-0884京都府福知山市堀495-3
 塩見昭吾方 TEL0773-22-7546

◇729 2012.12 B5 4p
 東寺(教王護国寺)と醍醐寺(福知
 山市猪崎)の木造薬師如来像に
 ついて 塩見 昭吾

◆都藝泥布 京都地名研究会通信

〒611-0031京都府宇治市広野町宮谷110-15
 糸井通浩方 TEL0774-44-7636
 年3000円 2002年創刊
 www.geocities.jp/Kyotochimei/

◇42 2012.12 A4 8p
 第34回京都地名フォーラム報告
 発表1 上ル下ルのまち京都が
 危機!ー通り名表記は時代に不
 適合なのか(黒田正子)／発表2
 井出寺と橘諸兄(茨木敏仁)／発
 表3 「三年坂(産寧坂)」考ー伝
 承と地名(糸井通浩)
 第35回地名フォーラム案内 西郷
 菊次郎と京都市の改造ー三大事
 業計画をめぐる(山本泰正)／
 歌枕「衣手の森」考(梅谷繁樹)
 ー「賢野の池」を考える(斎藤幸
 雄)
 京の地名俳句を観る(6)
 洛西の巻 尾崎聖二郎
 地名随想 寺の名の付いた町名
 (3)「実相院町」 清水 弘
 会長日記抄 吉田 金彦
 地所表記のカタカナー「上ル」か
 「上る」か問題めぐって(3) 糸井 通浩
 新刊紹介 会員著作紹介 池田末
 則『地名の考古学ー奈良地名伝
 承論』、吉越昭久・片平博文編
 著『京都の歴史災害』、柿木重
 宜著『日本語再履修』、水野孝
 典著『富貴高司句集「飛地」』、(以
 下会員外)中山敬一著『ええほ
 ん・滋賀の方言手控え帖』、劉
 建輝著『日中二百年ー支え合う
 近代』

◆やましろ 城南郷土史研究会

〒619-0204京都府木津川市山城町上狛南野
田芝29 中津川方 TEL0774-86-3262
1953年創刊

◇26 2012.12 B5 128p 1100円

巻頭言

山城河内燈明講について

一南山城・北河内の秋葉信仰 中川 博勝
和束町 仏滅記念銘のある石造品
について 石田 正道

木津川の帆かけ舟 渡し舟 梅原恭仁子
子どもたちの地域史(8) 上狛の
歴史探検 平成23年度木津川市

立上狛小学校 六年一組
浅田家文書雑感(3) 浅田 周宏
鹿背山通信(7)

一鹿背山不動の刻銘について 田辺 英夫
南山城文学誌のあわさ(5)

南山城の資料発掘 古川 章
宇治文学碑廻り 小西 亘
日露戦争講話反対綴喜郡民決議案

について 宇治田原町今西義彦
家文書から 仁張 真人
田原村の「日清日露戦役記念碑」

今西義彦家文書にみる建設経過
と宇治田原町の戦争記念碑 橘 尚彦
祝園部隊の化学兵器—大阪陸軍兵

器補給廠祝園填薬所元軍人の証
言による推定 柴田 保彦
南山城地域の仏像 参考文献集成

—12世紀篇(3) 明王像、天部
像(2) 如来像Ⅱ、菩薩像 八田 達男
受贈図書(11.11.1~12.11.30)

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより

〒603-8577京都市北区等持院北町56-1
TEL075-465-8151 1993年創刊
www.ritsume.ac.jp/mng/er/wp-museum/

◇57 (20-2) 2012.12 A4 16p

スポット ミュージアムの所蔵品
(54) 『平和の泉』

巻頭つれづれ 「情報の送り手」と

「情報の受け手」 安斎 育郎
館長だより 外交戦略と民主の願

いを結ぶ大学の役割 中国を眺
める一大学人の目に引き留めた
もの モンテ・カセム

ここが見どころ 「見捨てられた
人々」と全体主義—ハンナ・ア
ーレント『全体主義の起源』か
ら 加國 尚志

華道家元池坊×立命館大学国際平
和ミュージアム「平和の祈りを
生ける」展 木立 雅朗

運営委員リレー連載
「生命の原理」から学ぶ 早野 俊哉

ミュージアムおすすめの一冊 ハ
ンス・ベルティング著 仲間裕
子訳『イメージ人類学』(平凡
社 2013年刊予定)／『ヴィーナ

スを開く—裸体、夢、残酷』(白
水社 2002年7月刊) 仲間 裕子
ミニ企画展 開催報告

(2012年7月~10月)
事業報告 2012年度博物館実習受
け入れ／夏休み親子企画「へい

わ」ってなに?? 2012／小中学
校教員対象下見見学会2012／イ
ンターナシッブ受け入れ／文

字・活字文化の日「平和って
なに色?」

元アメリカ兵捕虜の見学と交流会
／日本平和補博物館会議加盟館
の紹介・第5回 広島平和記念

資料館／ボランティアガイド活
動日誌(伊藤昭)／2012年度入館

者状況(2012年4月~10月)／編
集後記／ミュージアムインフォ
メーション

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円
www.eonet.ne.jp/~sanonokai/

◇300 2012.12 B5 14p

紹介 「なんでも鑑定団」放映の
新発見 小出吉政宛豊臣秀吉朱
印状 小西 研三

蟻通雑記(6) 冠の淵と相論 樋野 修司
和泉の中世城郭(15) 井田 寿邦
お蔭さまで300号／今後の予定

◇301 2013.1 B5 14p

唐金梅所年譜稿 廣田 浩治
近世前期の佐野村諸帳簿—土地関
連史料の整理を課題に(4) 井田 寿邦

続・会報目録を準備中
今後の予定
◇302 2013.2 B5 14p

インドネシア ジャワ島の航空兵
と本店商店 本田市太郎／北山理
近世前期の佐野村諸帳簿—土地関

連史料の整理を課題に(5) 井田 寿邦
和泉の中世城郭(16) 井田 寿邦
会報目録を発刊／動向／今後の予

定

◆大阪民衆史研究 大阪民衆史研究会

〒599-0223大阪府阪南市光陽台4-5-25
TEL072-471-8601 1993年創刊
www.eonet.ne.jp/~minshusi/

◇67 2012.12 A5 134p 1000円

第二次世界大戦大阪における戦争
孤児の生活と教育(上)—大阪市
立郊外学園を中心に 赤塚 康雄

ある元兵士の回顧—満洲野戦航空

隊からチルチック収容所にて 山口 誠一
歴史的転換の針路をもとめて—19
35~40年、関西地方における日

本共産党再建と人民戦線運動の
再検討 木津 力松
強制連行からの脱出行 林 耕二

遼寧小旅行(2010年8月)(上)
一瀋陽・桓仁・本溪・遼陽 高谷 均
書評 井上さとし著『鐘紡長浜高

等学校の青春』 二宮 一郎
表紙きりえ クウェー川鉄橋 宮本 晴美
グラビア 府庁本館に残っている

特高警察跡 山崎義郷／林耕二
会員の著書／投稿規程／大阪民衆
史研究会会則／執筆要領

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンテ
ィークショップ—兵内 TEL06-6931-1081
年5000円 1984年創刊

blog.goo.ne.jp/rekisitanbou/

◇340 (29-12) 2012.12 B5 12p

浪速今昔百景(22) 大阪城の盛衰
川村 一彦

第316回例会案内／見る・聞く・
学ぶ 第317回例会予定、今後
の例会会場・講演予定／会員の

動き／会からのお知らせ

第315回例会報告 「千利休」一切
腹の原因をめぐって 福井幸男
氏／古文書講座(第135回)「大

黒屋光太夫の帰国について」
石川道子先生 (朝山)
11月見学会 平成24年11月3日(日)

上町台地の史跡を探索する—旧
陸軍第四師団司令部庁舎を訪ね
る 川村 一彦

会からのお知らせ／ブック・イン
 フォメーション
 ◇341 (30-1) 2013.1 B5 12p
 平成25年年頭所感
 日本のなすべき道 松坂 定徳
 第317回例会案内／見る・聞く・
 学ぶ 第317回例会予定、今後の
 例会会場・講演予定／会員の
 動き／会からのお知らせ
 12月例会報告(第316回)「秀頼非
 実子説」をめぐる一服部英雄
 説の新説を検討する 渡辺武氏 (磯崎)
 年末特別企画「第一回活動資金支
 援交換会」
 会員寄稿 誇るべき縄文文化 井川 光正
 会からお願い／ブック・インフ
 ォメーション
 ◇342 (30-2) 2013.2 B5 12p
 巻頭言 古文書苦楽部より(1)
 干支について 寺井 正文
 第318回例会案内／見る・聞く・
 学ぶ 第319回例会予定、今後の
 例会会場・講演予定／春の見
 学会のご案内／会員の動き／会
 からのお知らせ
 1月例会報告(第317回)「文武両
 道の三好長慶と芥川政権」堀
 孝氏／古文書講座(第136回)
 「大寄噺の尻馬」石川道子先生 (寺井)
 会からお願い／ブック・インフ
 ォメーション
 ◆家系研究協議会会報
 〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家
 1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
 年5000円 2002年創刊
 www.geocities.jp/kakenkyou/
 ◇43 2013.1 B5 8p

巻頭言 安居 隆行
 家系研究協議会 平成24年度 秋
 の例会報告 平成24年10月28日
 (日) 講演「楠木一族の謎ー正
 成の知られざる兄弟・子・孫ー」
 講師：岡田有史氏
 墓参り紀行「広島大石家」 (馬原)
 小村氏蔵書整理状況(続編)／家研
 協たより／家系研究協議会次回
 例会予定
 珍名さんいらっしゃい(40) 眞野 幹也
 図書出版案内／受贈図書・資料
 ◆河童通心 和田寛
 〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327
 TEL072-251-2586 年2400円
 ◇345 2012.12 A5 8p 200円
 河太郎の復権 和田 寛
 ◇346 2013.2 A5 16p 200円
 『河童の三平』細見 和田 寛
 「河童文庫」増加図書目録
 ◆近畿文化 近畿文化会
 〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13
 上本町YUFURA 7 階
 TEL06-6775-3686 年2200円
 ◇757 2012.12 A4 10p 300円
 吉野山の仏像を訪ねて 神田 雅章
 行基の足跡を訪ねて(3)
 一摂津猪名野・武庫・兵庫 泉森 皎
 ◇758 2013.1 A4 8p 300円
 外宮・「せんぐう館」から二見へ 岡田 登
 吉野川分水(2)ー山辺の道周辺 来村多加史
 ◇759 2013.2 A4 8p 300円
 城陽の古社寺と仏像 関根 俊一
 「ならめい志ゝるづ」を歩く 森下 恵介
 ◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28
 平川大輔方 TEL06-6652-4511
 web1.kcn.jp/koyjo_tomonokai/
 ◇528 2012.12 B5 20p
 1月・第591回例会(総会・新年交
 礼会)のご案内／平成25年2月
 (第592回)例会の予告(総会提出
 原案による)／セミナー等のご
 案内／受贈図書・資料／城郭ニ
 ュース(新聞記事提供者)／編集
 部より
 11月・第589回例会の報告
 播磨花隈・兵庫城 木下 修二
 会員通信 旗本領の陣屋とその町
 その村(承前) 其二 但馬村岡
 陣屋 上田 正和
 新聞記事紹介
 ◇529 2013.1 B5 22p
 平成24年度見学会の概要(報告)／
 2月(第592回)例会の予告(総会
 提出原案による)／セミナー等
 のご案内／受贈図書・資料／城
 郭ニュース(新聞記事提供者)
 12月・第590回例会の報告 近江
 布施山城、大森城、大森陣屋 森田 又一
 会員通信
 近江布施山城、大森城 鳥瞰図
 川端 義憲
 旗本領の陣屋とその町その村
 (承前) 其三 備中成羽陣屋
 上田 正和
 新聞記事紹介
 ◇530 2013.2 B5 20p
 甲賀 黒川氏城・土山城ほかを探
 訪します(3月・第593回例会の
 ご案内)
 4月・第594回の予告／セミナー等
 のご案内／受贈図書資料／城郭

ニュース(新聞記事提供者)
 1月・第591回例会(総会)の報告
 会員通信 旗本領の陣屋とその町
 その村(承前) 其四 近江中山
 陣屋 上田 正和
 新聞記事紹介
 ◆つどい 豊中歴史同好会
 〒560-0884大阪府豊中市岡町北2-8-11
 山口久幸方 TEL06-6857-4959
 homepage2.nifty.com/toyonakarekishu/
 ◇299 2012.12 B5 18p
 五世紀の宮居を探る一応神天皇の
 大隅宮・仁徳天皇の高津宮を中
 心に 茨木 美行
 伊賀の史跡を訪ねる 三橋 操
 俳句／1月の例会／1月の現地見学
 ◇300 2013.1 B5 20p
 廣田神社の大絵馬
 会誌『つどい』刊行三〇〇号にあ
 たって 山口 久幸
 記念事業『つどい』電子化委員会
 より 石尾 賢一
 考古学から見た四・五世紀のヤマ
 ト政権と吉備(後) その1 中司 照世
 茨木市北西部の古墳を訪ねる(前)
 阪口 孝男
 スポーツ安全保険の加入希望者募
 集／俳句／2月の例会
 ◇301 2013.2 B5 16p
 九州島における四・五世紀の一樣
 相(1)ー肥前(1) 宇野 慎敏
 茨木市北西部の古墳を訪ねる(後)
 阪口 孝男
 世界文化遺産シンポジウム 石尾 賢一
 十千十二支による数表示と方位方
 向と時刻について 草川 英昭
 俳句／3月の例会／3月の現地見学

◆民俗文化 近畿大学民俗学研究所

〒577-8502大阪府東大阪市小若江3-4-1
TEL06-6721-2332 1989年創刊
◇24 2012.11 A5 286p
表紙・口絵写真 長門・周防の民俗
俗 大脇潔／胡桃沢勘司／戸井田 克己／藤井弘章／渡辺良正
《長門・周防の民俗》
周防・長門薨紀行一吉川広家・大内義弘と山本勉弥 大脇 潔
近世防長船の昆布交易 胡桃沢勘司
防長探訪記
一山口で出会った人と物 戸井田克己
山口県のウミガメの民俗―長門地方の祭祀・供養習俗を中心に 藤井 弘章
富田瓦について―山口県周南市 西村 修一
防府市の窯業新稿 羽鳥 幸一
山口の思い出と狩野芳崖 剣持あずさ
薩南諸島及び南九州における遺跡
出土のウミガメについて 石堂 和博
民俗学研究所第24回公開講演会
海の民俗をめぐる諸問題―回遊魚、旬、災害(要旨) 橋村 修

◆あわじ 淡路地方史研究会

〒656-0053兵庫県洲本市上物部161-8
TEL0799-24-1512 年6000円 1984年創刊
◇30 2013.1 B5 130p
《第30号記念号》
はじめに 武田 信一
『あわじ』第30号発行記念にあたって 武田 信一
淡路出身の史家武岡豊太と樹下快淳 大江 恒雄
庚午事変 その後
一稲田家家臣団の北海道開拓 五島 清弘
羅州丸空襲の悲話 原田 修一
文政3年から天保10年迄20年間に

賞罰をうけた須本在住の阿波藩士について 北山 學
淡路島のミニ霊場 堀部るみ子
史料探訪 西山徂雲 黒田 敏夫
安乎直田城(あいがじきでんじょう)について 定本 義広
淡路霊場記(4) 武田 信一
私の昭和(2) 生田 静子
鍼灸随想 羽田 功一
忘れられた指揮官 樋口季一郎 神田 久雄
春の研修旅行報告 堀部るみ子
秋の研修旅行報告 但馬路を行く 北原 文雄
淡路地方史研究会例会記録
会員の書籍出版、入会のご案内、会誌等の在庫一覧、会員の著作物紹介、会員名簿、平成24年度役員

◆神戸史談 神戸史談会

〒654-0151神戸市須磨区北落合4-26-6
佐藤憲太郎方 TEL078-793-5348
年3000円 1926年創刊
◇310 2013.1 A5 94p
口絵 新年例会正式参拝／3月例会正式参拝
年頭挨拶 生田の馬場について 加藤 隆久
2013年NHK大河ドラマ「八重の桜」主人公 新島(山本)八重の生涯 略伝 辻 正彦
適塾の英才 村上代三郎 服部 晃
仁徳天皇と菟餓野 どいかずこ
随筆 榎ヶ谷トンネルと舞子袴線 橋一山陽電鉄舞子駅付近の身近な近代化遺産 田中 正文
妙法寺村の弘法井戸 村に伝わる井戸にまつわるお話 加門 得勇
紹興市と魯迅 飯塚 修三

3月例会

「平清盛」展览展示作品の概要 問屋 真一
4月例会 「源平合戦古戦場 屋島バス旅行」概要 佐藤憲太郎
5月例会 「第6回伝統建築探訪」概要 武田則明／前田章賀
6月例会 須磨 真言宗潮音寺 牛尾真堂／井上勇
7月例会 「源平盛衰愛妾ものがたり」―乱世に運命を翻弄されながらもしなやかに生きた愛妾たち―の研究発表までの経緯について 吉原 康雄
8月特別講演概要 古文書と酒造り「小西右衛門氏文書」による元禄の酒造りの試み 石川 道子
9月例会 「外国人居留地 ガス灯考―神戸・横浜・長崎」の概要 西川 和機
10月例会 「西国街道こぼれ道―花隈城周辺の史跡を訪ねて」 望月 浩
11月例会 神戸の歴史を検証する 前田 章賀

神戸史談会役員／年賀広告(有志者)／神戸史談会会則／神戸史談会基金制度の内規／神戸史談会創立110周年記念事業積立金寄付者ご芳名／神戸史談会基金寄託状況／神戸史談会事業報告／受贈図書／会員異動／バス旅行 募集―楠木正成ゆかりの南河内を訪ねる旅

◆史料ネット NEWS LETTER

歴史資料ネットワーク
〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1
神戸大学文学部地域連携センター気付
TEL078-803-5565 年1000円 siryo-net.jp
◇72 2013.1 A4 12p

巻頭言 被災地を“味わう”という体験

添田 仁
特別寄稿 特別企画展「大阪を襲った地震と津波」を開催して 飯田 直樹
展示「葺合・脇濱の歴史と長濱家文書」を終えて 加藤 明恵
第14回 火垂るの墓を歩く会 吉原 大志
つながっていく水損資料修復ワークショップ 吉川圭太／吉原大志
大阪の地域歴史遺産をめぐる諸動向 大阪歴史科学協議会
阪神・淡路大震災の震災資料に関する新刊紹介 人と防災未来センター資料室編『阪神・淡路大震災における住まいの再建―論説と資料―』震災資料集Vol.1 2012年／伊丹市立博物館編『阪神・淡路大震災 伊丹からの発信 本文編』2012年 板垣 貴志

◆西宮文化協会会報

〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
西宮神社内 TEL0798-33-0321
◇537 2012.12 B5 8p
訃報 西宮文化協会顧問 前会長 吉井貞俊様
12月行事 吉井貞俊前会長を偲ぶ会 併せ忘年懇親会
紙の歴史と文化・名塩和紙の里(4) 山下 忠男
「伝統・文化に関わる教育」研究 “伝統芸能を学校へ”(2) 森村 暁子
『太陽の巫女 倭姫巡幸記』(プロット)(3) 荒木 博子
国登録有形文化財 瑞寶橋・嘉永橋
◇538 2013.1 B5 8p
1月行事 西宮神社境内 百太夫

神社祭参列と白鹿記念酒造博物館見学 新春企画展「良い夢みましょー宝船ー」堀内あびすコレクション
故堀内冷先生とあびすコレクション 弾正原佐和
吉井貞俊大人(西宮文化協会顧問・前会長)を偲ぶ 山下 忠男
秋季見学会に参加して 廣瀬 昭夫
村上春樹と西宮神社(前) 小西 巧治
◇539 2013.2 B5 8p
2月行事 講演会「江戸時代の西宮の街道」ー西国街道、中国街道 それぞれの役割 室谷公一氏
村上春樹と西宮神社(後) 小西 巧治
紙の歴史と文化・名塩和紙の里(5) 山下 忠男
“龍馬脱藩” 文久二年土佐椿原(1) 二宮 健

◆歴史と神戸 神戸史学会
〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4
田中印刷出版内 TEL078-871-0555
年3000円 1962年創刊
◇295 (51-6) 2012.12 A5 49p 600円
《特集
50周年記念号2 戦災と災害を越えて》
昭和20年8月15日の神戸空襲と防空壕 証言者：森岡道子 森岡 秀人
記憶を紡ぐー「神戸空襲を記録する会」の軌跡をたどって 横山 聡子
災害科学研究所の設立とその研究
ー戦間期・戦時初期の災害研究 児玉 州平
史人の道草つづり書 隼人と犬神 人ー邪気払いとキヨメ 渋谷 武弘
網干龍門寺創建にまつわる灘屋の

繁栄と終焉を探る 田中 早春
前号の直木孝次郎「崇神・垂仁・景行の三天皇の実在性と山陵について」訂正
新聞地域版を読む／受贈図書紹介／新入会員

◆大美和 大神神社
〒633-8538奈良県桜井市三輪 TEL0744-42-6633 www.oomiwa.or.jp
◇124 2013.1 B5 80p
頌 春 鈴木 寛治
氏姓からみた『古事記』 中村 啓信
三輪君文屋 井上 辰雄
三輪山セミナーイン東京講演録
吉野ヶ里にみる祭祀ー祖霊信仰の源流を探る 高島 忠平
三輪山セミナー開催200回記念講演録 鼎談「記紀にみえる三輪山伝承」 菅谷文則／千田稔／和田萃
千年のタイムカプセル
『医心方』の魅力 槇 佐知子
第41回「神道国際友好会宗教事情視察研修」ホノルル・ハワイ島を訪問して 藤原 豊和
第9回「三輪山まほろば短歌賞」開催／献詠祭 特別献詠・入選歌／社頭おりおりの記／平成25年三輪山セミナー予定表／社務所ニュース／奉納品紹介／寄贈本／日誌抄／祭典の案内

◆国際熊野学会会報
〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1 新宮市教育委員会文化振興課 TEL0735-23-3368
年3000円 2005年創刊
◇18 2013.1 B5 4p
熊野の地域資源と協働の地域づく

りー山村からの視点 鈴木 裕範
国際熊野学会熊野例会／第5回熊野学サミット／平成25年度大会と東京例会・熊野例会について／世界遺産「熊野本宮館」リニューアルオープン／根津美術館・企画展「新春の国宝 那智瀧図」

中国・四国

◆郷土石見
〒697-0034島根県浜田市相生町2139-15
児島俊平方 TEL0855-22-2567 1976年創刊
◇91 2012.12 A5 152p 1200円
特報 韓国鬱陵島にある石見焼と石州瓦についてー2010年8月の現地調査の報告を中心に 阿部 志朗
津和野町青原出身の大相撲力士 若常陸の生涯全戦績をたどる 山岡 浩二
浜田藩士・絵図方「土井助」伝(中) 岩町 功
忍び寄る天保の大飢饉
ー因原村徒党事件の背景 森脇 登
近世・石州瓦史考(中) 児島 俊平
評論・徳川夢声と俳句 三浦 義之
鷗外の扁額をめぐる 林 量三
変わりをゆく浜田川ー川とその周辺
の景観は文化のシンボルである 坂本 文江
町から村から
志都岩屋神社の鏡岩
ーわが町の碑 大矢 幸子
「ありがとう」そしてこれから 永本 恵子
靖国の遺児 依田 光子
資 料
歴史家服部之総と石見 河野 純一
島根県邑智郡邑南町矢上・清水屋本田植歌集(1) 田中 瑩一

平成24年度石見郷土研究談話会浜田大会／地元研究発表要旨

◆大社の史話 大社史話会
〒699-0701島根県出雲市大社町杵築東455-1 馬庭孝司方 TEL0853-53-1582
年2500円 1974年創刊
www.taisha-shiwa-kai.jp
◇173 2012.12 B5 50p
大社の文化を学ぶ・受け継ぐ・創る(7) 出雲にかぶく舞踊集団「出雲阿國」！ 杉谷 桂子
大社の音楽ことはじめ(3) 大社高校 合唱部の活動 渡部 智
一登山者の探した坪背山山境石碑 田中 貞利
出雲手斧神社について 藤原 慧
もう一つの船唄について 春木 加三
出雲弁よもやま話 ーえすいこ・さすいこ 村上 清子
「出雲阿国俳句」第15回記念 たいしゃ俳句大会ー有馬朗人先生講演会 大社町俳句協会
出雲地域の歴史と文化(4) 木綿 街道のまちづくりの歩みー町並み保全と活用にむけて 木綿街道振興会
日本海運史料紹介(4) 出雲国鷲浦船問屋讃岐屋旧蔵 船御改控帳 藤澤 秀晴
企画展 匠の技ー弥生木製品から出雲大社まで 古代出雲歴史博物館
出雲弥生の森博物館ギャラリー展示「発掘された戦国の山城」ー出雲にも多くの城が?! 出雲弥生の森博物館
手銭記念館の四季 杵築文学あれこれ(3) 佐々木杏里
書籍紹介 『経島のウミネコ』が

刊行される！ 編集部
読者コーナー 編集部
開設1周年「大社史話会ホームページ」！ 編集部
平成24年7月～9月出雲市大社町年表 編集部

◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山県岡山市北区磨屋町6-28
光珍寺内 TEL086-222-2028
年2000円 2002年創刊
◇45 2013.1 A4 10p
亀山城跡の岡山市指定史跡指定記念記事 宇喜多氏の城々(6)
武将直家の居城・亀山城跡(2) 出宮 徳尚
芳春院による宇喜多秀家支援について 大西 泰正
物語直家記伝 乙子の城 第16回
伴侶 (1) 山重十五郎
会員サロン 亀山城跡の岡山市指定史跡の記念イベント 津下 誠治
訃報 当会理事 遠藤和忠氏 宇喜多家史談会
平成25年度宇喜多家史談会総会開催通知 石渡 隆純

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会

〒704-8113岡山市西大寺2-6-36 村上岳方
TEL086-942-6156 年1500円 1986年創刊
homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm
◇128 2012.12 B5 40p
中近世移行期の備前国人と地域産業—林原美術館所蔵年欠八月四日付け宇喜多直家書状を端緒として 森 俊弘
研究ノート 備前国児島郡の大庄屋の変遷について 北村 章
2011年度会計決算・監査報告

編集後記

岡山県関係論文目録・抄(近世の部、2005～2010年)

◆岡山民俗 岡山民俗学会

〒700-0062岡山市北区大安寺中町11-17
次田圭介方 年4000円 1949年創刊
◇233 2012.12 B5 51p
畑の一隅に死者を葬る習俗をめぐって—葬送・墓制史の理解のために 加藤 正春
近世後期を中心とする瑜伽山門前町の様相について—旅日記・名所案内の類いから 吉原 睦

◆きび野 岡山県郷土文化財団

〒700-0813岡山市石関町2-1
TEL086-233-2505
◇128 2013.1 A5 14p
表紙説明
児島虎次郎『水仙を持つ少女』妹尾 克己
年頭にあって 波田 善夫
随想《春の海》と「随筆家 宮城道雄」 千葉 優子
岡山の人物 美作国と上毛野堅身 尾島 治

岡山の自然 蛇ヶ丸湿原 山田 信光
岡山の文化財 敬業館跡 安東 康宏
わが町・わが村の自慢
出石しろまち工房(岡山市北区)
ふるさとの想い出 音楽の蔵 牛窓シーサイドホール(瀬戸内市)
文化財団ニュース／催しのご案内／会員だより／ご案内

◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会

〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島大学大学院文学研究科日本史学研究室内

TEL082-424-6643 年3000円 1953年創刊
◇282・283 2012.12 A5 88p
《特集 平氏研究の最前線》
特集にあたって
平家と瀬戸内の武士 野口 実
後白河・清盛政権期における日宋交渉の舞台裏 渡邊 誠
平清盛音戸瀬戸「日招き」開削伝説の形成と浸透 下向井龍彦
動 向
歴史講座「広島県の歴史」の記録
広島県の地方史研究
伊予史談会交流報告

◆山城志 備陽史探訪の会

〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
TEL084-953-6157 1982年創刊
bingo-history.net
◇21 2013.1 A4 73p
発刊にあたって 田口 義之
論 考
宮氏と柏村一宮下野守家の盛衰 田口 義之
小早川隆景の侍大将 古志新右衛門について 矢田 貞美
福山城の藩主屋敷について 御屋形は水野勝俊によって建てられたのか？ 田中 伸治
研究ノート
年号考 私異年号について 根岸 尚克
三原郷と沼田小早川、杉原両氏の関係について 木下 和司

紀行文

東海道五十三次ゆったり歩き紀行—薩た峠から舞阪へ 岡田宏一郎
カンボジアの旅 アンコールを行く 菩提樹の種子を探すY・H
念仏紀行

親鸞聖人と関東二十四輩 三好 勝芳

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
TEL084-953-6157 bingo-history.net
◇169 2012.12 A4 16p
中世山城の「城名」 田口 義之
レポート 笏 根岸 尚克
山城レポ 山城の怪・峠の老女 末森 清司
NPO法人「グリーンラインを愛する会」よりのお知らせです
例会報告 ぶら探訪6
大正ロマン漂う「松永西」 中西イタチ
おすすめ情報 島根県立古代出雲歴史博物館 企画展「戦国大名 尼子氏の興亡」
例会報告
ぶら探訪6 松永西を歩く 田口 由実
満足した「早島・妹尾」の史跡めぐり—歩く距離が長くて、きつかったが見どころも 岡田宏一郎
投稿俳句
江田島海軍兵学校を訪ねて 住田 保夫
伊都国を訪ねて
—1泊旅行の思い出 平井 悦夫
ホームページを活用しよう
伊都国を訪ねて
—楽しかった一泊旅行 種本 実
福山人伝説 福山に伝説残す人物「大河・平清盛編」 中西タイチ
懐かし写真館
大谷古墳(福山市引野町南) 野母 寿子
随想 時代の始まりにはいつも女あり 野母 寿子
大分便り 壇ノ下共同墓地 後藤 匡史
紀行文 淡路国史跡探訪 坂井 邦典
おすすめ図書 史跡・文書の新発

見『歴史探索入門』（小和田哲男 角川選書） 岡田宏一郎
事務局便り 12月年末恒例「歴史講演会&望年会」、1月年始恒例「記念講演会&総会・新年会」／各部会学習会・講座／事務局日誌／新入会員の紹介

◆広郷土史研究会会報

〒737-0112広島県呉市広古新開2-1-4
呉市広公民館内 TEL0823-71-0706
1998年創刊

◇112 2013.1 A4 15p

第34回広島県郷土史研究協議会
(県史協)呉地方大会開会式

小早川諭／上河内良平
年中行事から季節を感じる

一春夏の楽しみ方 小林美保子

平成24年度 第34回県史協呉地方

大会報告 吉田 顕治

第34回県史協呉地方大会写真記録

昔懐かしいボンネットバス情報

平成24年10月／広の船津神社大

島居一新 平成24年9月 小早川 諭

藤田家文書 第Q章 藤田家財産

目録・起業資料集と関連文書

Q-1広島水力発電所基本資料(16)

広郷土史研究会古文書部会

古文書部会の報告／県史協呉地方

大会の反省会と慰労会／本年度

県史協機関誌編集方針／事務局

報告

◆みよし地方史

〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂

2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753

1987年創刊

◇89 2012.12 A4 16p

『鎮魂』と出会い、三次を訪問して

別所 智子

疫病の流行一文久二年 三次郡志

和村・青河村の状況（三次市下

志和地町山田家『御用控』より）

立畑 春夫

ふるさとの小社祠

天神社（三次市十日市東） 後藤千賀子

三次地方の地名あれこれ(22)

極楽（三次市子甲奴町太郎丸） 藤原 一三

三次盆地の前方後円墳(5) 宮地

第一号古墳・宮地南古墳、明光

山第五号古墳一調査報告 加藤 光臣

「クサカケ」考 中畑 和彦

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0062広島県三原市本町1-9-27

福岡幸司方 TEL0848-62-2935 年3600円

◇261 2012.12 B5 12p 100円

今月の各地

馬の口、440年前の石垣を見る 下西 勝彦

秋のバス研修旅行感想文

赤穂、室津を訪ねて 津島 敏子

赤穂と室津の旅 姉川 宏

秋の研修旅行 吉原 宏人

厳島神社と平清盛(6) 8.平氏滅亡

とその後の厳島神社 大本 静人

三原のあゆみ(4)（芸陽日々新聞

創刊20周年記念誌より）郷土

と小早川氏について(つづき)

◇262 2013.1 B5 12p 100円

今月の各地 新年のご挨拶 上田 嘉信

河内町郷土史研究会を案内して 大谷 和弘

三原城主浅野右近大夫忠吉と家老

戸田勝直 中谷 裕子

厳島神社と平清盛(完結編) 大本 静人

三原のあゆみ(5)（芸陽日々新聞

創刊20周年記念誌より）

◇263 2013.2 B5 12p 100円

今月の各地 荒神祭 寺迫 保夫

三原(旧)一周膝栗毛感想文

三原(旧)一周膝栗毛 最終日に

参加して 小早川圭介

第13回「三原(旧)一周膝栗毛」

雑記 正田 公佑

糸碓神社の「歌碑」建立者

渡瀬徳兵衛の紹介 福岡 幸司

◆徳島県立博物館ニュース

〒770-8070徳島県徳島市八万町向寺山

徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636

1990年創刊

www.museum.tokushima-ec.ed.jp

◇89 2012.12 A4 8p

円瀬川ではじめての発見

絶滅危惧種「カジカ」 佐藤 陽一

Culture Club 徳島県の外来植物

茨木 靖

速報 鳴門市千鳥ヶ浜に漂着した

イチョウハクジラの解剖調査 佐藤 陽一

情報ボックス

絶滅危惧種ハマグリとその近縁

種 中尾 賢一

正月の門松いろいろ 庄武 憲子

Q&A 文化の森に古墳があると

聞きましたが、どこにあるので

すか？ 高島 芳弘

1月から3月までの博物館普及行事

あなたも参加してみませんか？／博物館Vキング／博物館

友の会 行事のご紹介

◆伊予史談 伊予史談会

〒790-0007愛媛県松山市堀之内

愛媛県立図書館内 1915年創刊

◇368 2013.1 A5 71p 715円

《創立100周年記念特集号(1)》

伊予史談会創立百周年を迎えて 高須賀康生

先学論文集(復刻)

道後温泉の沿革について 景浦 稚桃

城下町としての松山の成立と發

展 景浦 稚桃

松山城の沿革 西園寺源透

松山城建築に就いて 柳原多美雄

明治維新と松山藩の動静 景浦 勉

近世伊豫三津濱港に於ける問屋

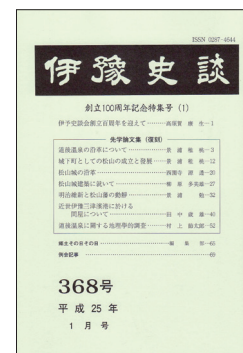
について 田中 歳雄

道後温泉に関する地理學的調査

村上節太郎

郷土その日その日 編集部

例会記事



＊大正3(1914)年5月創立の伊豫史談会が100周年迎えた。翌年5月に創刊された機関紙「伊豫史談」は、現在継続される郷土誌で最古参であり、まことに持って慶賀に堪えず、歴代会員の皆さんが貫いてきた志に敬服するばかりである。本特集では現会長の高須賀康生氏が100年の歩みを振り返り、創立者である景浦直孝(稚桃)や、その子で、戦後の混乱期に心を砕いた景浦勉、それを支えた村上節太郎ら先学者の論文を復刻して収録する。100年という歳月はまなかななものではないと改めて思う。昭和4年に編集を開始した

『伊豫編年史』などの過程で収集された文献、古文書、筆写した文書冊子などの貴重な資料が、早くも12年には「伊豫史談会文庫」として県立図書館に寄託され、現在も継続して活かされているということもこの会の素晴らしい活動の一つとして特筆したい。

◆海南千里 土佐山内家宝物資料館だより
〒780-0862高知市鷹匠町2-4-26
TEL088-873-0406 2000年創刊
www10.ocn.ne.jp/~yamauchi/

◇39 2013.1 A4 10p
猩々文蒔絵杯

梶川作 直径11.5センチ 尾本 師子
山内資料館の両輪 渡部 淳
特設展紹介 特集コーナー「吉祥」
／桃の節句恒例「山内家のひな道具」
／特設展「四季を描く」
／特設展「男爵の旅 山内家の絵葉書コレクション」(尾本師子)

特設展関連行事報告 特別講座
藩主の一生一儀礼と生活(土佐藩歴代藩主展)、土佐藩の人々(土佐藩の人々展)、江戸時代検定 第7回(初級)(横山和弘)
／シンポジウム「武士の世界」
「民衆の世界」(高知市史近世部会連携展)(片岡剛)

山内家の甲冑(15) 甲冑の値段 尾本 師子
新 研究の手引 江戸時代人の証言—明治時代につくられた回顧録
千葉 拓真
整理と保存(39)

修理事例「能管」(1) 田井東浩平
古文書への招待 大名と評判一批判を恐れる大名 片岡 剛
土佐史の人々

花井半助義知(?~1735) 片岡 剛
古文書基礎知識 冊子の「古文書」
—堅帳と横帳 藤田 雅子
土佐の〇 地域とともに 資料の保存・継承と歴史像—地域の歴史と資料館 横山 和弘
お世話になった人々

—金剛寺(長岡郡本山町寺家) 筒井 聡史
まなびのひろば 夏休み工作教室
絵巻物の日記をつくろう!、伝統建築に学ぶ! 折りたたみイスをつくってみよう!／お月見の会／体験! 発見! 日本の伝統文化 水墨画/Japanese Culutural Experiense 薙刀 中屋 真理
やまびよん、まんさいに登場 筒井 聡史
受付だより—展示へのご感想 大平 悦子
路傍の歴史 速度標識と江戸時代の村 高知市高須 渡部 淳
平成24年度展示予定表／1月~2月の土曜講座のご案内／催し物のご案内／山内資料館 お正月特典

◆秦史談 秦史談会
〒780-0023高知市東秦泉寺283 松本紀郎
方 TEL088-875-6671 1984年創刊

◇172 2012.12 B5 55p
表紙 車谷・永野水車の石臼(中秦泉寺) 松下 政司
グラヴィア 「南国土佐を後にして」歌碑、「雨情のヨサコイ節」、史跡巡り、野口不二子さん・溝渕匠氏対談、「傳秦泉寺家古墓所」清掃
秦の昔話 その30 「牛よせ」(「こうち童話」から) 永野美智子
「吉備大臣入唐絵巻」 広谷喜十郎

土佐路の野口雨情(5) 永国 淳哉
山田一郎さんと! (4)
追憶の譜(終章) 山本華与子
土御門上皇と四国路(3) 溝渕 匠
求菩提山、昔在の山伏たち 笹原 保博
お龍さん異聞

相原寅之助との結婚 岩崎 義郎
落葉(俳句) 西方 郁子
ともこの昭和時代(18) 思い出の映画館(『土佐の民話』市原麟一郎編 から) 藤本 知子
長宗我部盛親夫人と後世神社 原田 英祐
永国先生の「土佐路の野口雨情」関連(3) 「秦史談」第171号関連
連 溝渕 匠
吸江庵(俳句) 溝渕 匠史
楠瀬大枝の周辺(5)

島村寿之助雅言傳、など 和田 豊子
戦史14 シベリア抑留日本兵の軌跡(3) 一子どもたちの集団 毛利 俊男
「ローカルジャーナル 秦史談」(『高知新聞』より)
江戸切絵図に「土方久元屋敷」を
探る 松本 紀郎
岡村庄造氏拓本集から(30) 岡村 庄造

九州・沖縄

◆季刊 邪馬台国 梓書院
〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1 麻生ハウス3階 TEL092-643-7075 1979年創刊
◇116 2013.1 A5 232p 1238円
グラビア 入門・統計的年代論
巻頭言 考古学を疑え
《特集 考古学を疑え》
旧石器時代研究のゆくえ 竹岡 俊樹
「旧石器捏造事件」考 辻本 武
〈神の手〉事件はいまも生きている 石原 秀晃

考古学への懸念
—理化学的手法への対処 山口 昌美
入門・統計的年代論(2) 安本 美典
回帰分析による古代天皇の年代論(2) 高木 達也
ブツダへの道(2) 一法顕が見た五世紀初頭のアジア 河村 哲夫
海の民 宗像(2) 太神 美香
—玄界灘の守り神
九州古代紀行(18) 応神天皇生誕地の宇佐八幡宮を往く 加藤 哲也
私の邪馬台国論
短里説は成り立つか? 住谷 善慎
「安本美典先生と訪ねる奈良・纏向遺跡と巨大古墳の旅」旅行記
邪馬台国の会

◆末盧国 松浦史談会
〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1
TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊

◇192 2012.12 B5 20p
唐津市指定文化財
水野織部正忠光碑 山田 洋
赤穂義士と天草の乱(3) 寺沢 光世
唐津の郷土史で語られていない真実の史話(1) 大友(呼子)の歴史と唐人坂(名護屋) 中里 紀元
唐津、土地の記憶(2)
港改修と漁撈民の生活 田島 龍太
すだかがみ(隅田鏡)よみとく(訓解)のあや 式島 若彦
採話 おえびんかつぱ 堀川 義英
秋の史蹟探訪 西播磨路を巡る
三、三、三の旅 佐々木市太郎
川柳が見た史談会播磨の旅 坂本兵八郎
史料で読み解く虹の松原一揆の実像(1) 山田 洋
事務局だより

◆鹿児島民俗 鹿児島民俗学会
〒890-0056鹿児島県鹿児島市下荒田4-1-18
阿多利昭方 TEL099-253-1775
年4000円 1950年創刊
◇142 2012.12 B5 70p
表紙写真解説 大田太鼓踊 (日置
市伊集院町大田) 所崎 平
「ホトケバアサン(仏婆様)」を母
とする「隠れ念仏」―シャーマ
ンと「ウチノニョウサン(内の
如様)」(2) 森田 清美
市来湊町の祇園祭り聞き書き 所崎 平
マクッナとコナスッナ 牧 民郎
みんぞく・かわらばん
酒ズン桶と地酒 所崎 平
「第17回かごしまの芸能」南日本
新聞社・NHK主催一平成24年
9月31日(日)開催の事前取材・
調査報告 所崎 平
みんぞく・かわらばん
高齢者の銭湯入浴料金 牧 民郎
屋久島
一山田ツル姫の生活史覚書稿 本田 碩孝
資料 鹿児島の昔話(6)一志布志
市・伊佐市の昔話から 下野 敏見
みんぞく・かわらばん 石風呂 所崎 平
霧島修験 空順法印の日記につい
て(12) 空順法印に関する石塔
類などを中心として 森田 清美
資料 安永二年 次渡日帳
川邊郷 前床 重治
学会活動報告

◆宮古郷土史研究会会報
〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8
下地和宏気付 TEL0980-72-9963
◇194 2013.1 B5 8p
1月定例会レジュメ

神話伝承の分布と交流 宮川 耕次
2月定例会レジュメ 宮古の氏姓
一苗字(平良・砂川・下地)がな
ぜ多い 砂川 幸夫
11月定例会のまとめ
宮古上布の現状 砂川 猛
ネフスキー生誕120年記念シンポ
ジウム 報告書「虹とみやこ」
を発刊 宮川 耕次
12月定例会のまとめ 『宮古島の
歌』の成立をめぐる 上原 孝三
謹賀新年 巳年の話題 (M)
友利元島遺跡発掘調査速報 久貝 弥嗣
宮古島市二件目の登録有形文化財
建造物・旧西中共同製糖場煙突
新城 宗史
シンポジウム復帰40年「みゃーく
文化を見つめ直す〜次代へ」開
かれる 下地 和宏
特別展示「第二回高校生学芸員企
画展」の紹介 砂川 史香
2012年忘年会 久貝 弥嗣
「実質喜寿」を契機に
蔵書と資料等の整理 仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆三重県史 資料編 近世3(下)
三重県編・刊 (〒514-0006 三重県津市栄町
1-954 三重県栄町庁舎2階 三重県環境生活
部文化振興課 県史編さんグループ TEL059-
224-2057) 2012年3月 A5 1297頁 7350円
販売: ぎょうせい東海支社 (〒460-0002 名
古屋市中区錦町3-10-33 錦SISビル6階 TEL
052-231-0331)
三重県の近世に関する史料のうち、原則とし
て正保期(1644~48)から嘉永期(1848~54)ま
での町や村・浦など地域社会に残された史料

を中心に、補遺的史料も含め525点収録する。
口絵/序(鈴木英敬)/凡例/総合解説/史料
所蔵者等一覧/第一章 神宮領(宇治・山田
(支配、会合の自治、町方の生活、御師の活
動と生活、参宮人に対する規制、芸能等)、
周辺農村(支配、社会)、直轄領(支配、社会))
/第二章 鳥羽藩(本藩領(支配、社会、産
業、生活・文化)、勢州領(支配、社会、産
業))/紀州藩(本藩・新宮領(支配、社会、
産業、生活・文化))、資料提供者及び協力者
[三重県史だより] もう一つの「熊野古道」
一慶長六年紀伊国牟婁郡検地帳原本の辿った
途(速水融)/近世期における祝祭空間として
の伊勢古市(岡田芳幸)/県史編さん室だより
/『三重県史』刊行計画(全30巻)
◆三重県史 別編 民俗
三重県編・刊 (〒514-0006 三重県津市栄町
1-954 三重県栄町庁舎2階 三重県環境生活
部文化振興課 県史編さんグループ TEL059-
224-2057) 2012年3月 A4 955頁 7350円
販売: ぎょうせい東海支社 (〒460-0002 名
古屋市中区錦町3-10-33 錦SISビル6階 TEL
052-231-0331)
多くの先人により手がけられた民俗調査や研
究によって蓄積された情報を活用・分析し、
三重県の民俗を描く『三重県史』民俗編。口
絵/序(鈴木英敬)/凡例/序章 三重の民俗
一私たちの「暮らしぶり」/第一章 三重の
民俗調査・研究のあゆみ(近世以前の民俗調
査・研究、近代の民俗調査・研究、現代の民
俗調査・研究)/第二章 生活と生業(農村
のくらし、輪中のくらし、伊賀盆地のくらし、
海村のくらし、山村のくらし、都市のくらし)
/第三章 人の一生(妊娠・出産、子どもの成
長と子育て、婚姻、年祝いと厄払い、病氣、
葬送、墓制)/第四章 年中行事(北勢の年中
行事、中勢の年中行事、南勢の

年中行事、志摩の年中行事、伊賀の年中
行事、東紀州の年中行事)/第五章 祭り・行
事と芸能(広がりを持つ祭り・行事、祭りの
要素と諸相、芸能)/第六章 社会(イエ、ム
ラとマチ、社会の変化と民俗の変容)/第
七章 伊勢・熊野信仰と諸信仰(伊勢信仰、
熊野信仰、諸信仰、遠隔地信仰、神社整理と
民俗の変容、船玉信仰、縁日と開帳)/第
八章 口承文芸(伝説、人物の伝説、民謡、方
言)/人物コラム(桜井祐吉、鈴木敏雄、原
田敏明、山田勘蔵、堀田吉雄、井上頼寿、平
八州史、岩田準一、中貞夫、上村角兵衛)/
執筆者及び執筆担当箇所一覧/資料・写真提
供及び協力機関(者)一覧
[三重県史だより] イエごとの訪れ神(野本
寛一)/山葵農家のファミリーヒストリー(神
野善治)/県史編さん室だより/『三重県史』
刊行計画(全30巻)
◆三重県史資料叢書6
資料編 中世2 補遺I
三重県編・刊 (〒514-0006 三重県津市広明
町13 環境生活部文化振興課 県史編さんグ
ループ TEL059-224-2057) 2012年3月 A5
217頁
1984年から開始された三重県史編さん事業
『三重県史』資料編「中世1」上・下、「中世2」
(2005年)刊行後に進められている県外所在
の中世文書の編さん作業によって、新たに確
認された三重県内の中世文書を収録する「中
世2」補遺編。県史編さんグループ所蔵文書
/鈴木光信氏所蔵文書/藤井義昭氏所蔵文書
/穂積則子氏所蔵文書/三重県立博物館所蔵
文書/結城神社文書/四日市市立博物館所蔵
文書/竹中輝男氏所蔵文書/朝熊町有文書/
一色町有文書/岩井田家文書/楠部町有文書
/中村澄夫氏所蔵文書/丸岡家文書/白米家
文書/松阪市所蔵文書/本居宣長記念館所蔵
文書/春日神社所蔵文書/桑名市博物館所蔵

文書／法泉寺文書／鈴鹿市役所所蔵文書／龍光寺文書／亀山市歴史博物館所蔵文書／鳥羽市立図書館所蔵那須家文書／志摩国分寺所蔵薬師如来坐像胎内銘／志摩市船越連絡所所蔵文書／解説

◆立命館大学国際平和ミュージアム 20年の歩み—過去・現在、そして未来 資料編：20年間の事業記録1992.5-2012.3

立命館大学国際平和ミュージアム編・刊（〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 TEL 075-465-8151）2012年3月 A4 159頁

1992年5月19日に開館してから20周年を迎える立命館大学国際平和ミュージアムの事業記録集。立命館大学国際平和ミュージアム事業記録—開館準備から1999年度まで／立命館大学国際平和ミュージアム2000年度事業記録／立命館大学国際平和ミュージアム2001年度事業記録／立命館大学国際平和ミュージアム2002年度事業記録／立命館大学国際平和ミュージアム2003年度事業記録／立命館大学国際平和ミュージアム2004年度事業記録／立命館大学国際平和ミュージアム2005年度事業記録／立命館大学国際平和ミュージアム2006年4月～12月事業記録／立命館大学国際平和ミュージアム2007年1月～12月事業記録／立命館大学国際平和ミュージアム2008年1月～12月事業記録／立命館大学国際平和ミュージアム2009年1月～12月事業記録／立命館大学国際平和ミュージアム2010年1月～12月事業記録／立命館大学国際平和ミュージアム2011年1月～2012年3月事業記録

◆立命館大学国際平和ミュージアム 20年の歩み—過去・現在、そして未来

立命館大学国際平和ミュージアム編・刊（〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 TEL 075-465-8151）2012年3月 A4 127頁
ご挨拶（川口清史、モンテ・カセム）／刊行にあたって（高杉巴彦）／国際平和ミュージアム

歴代館長の紹介／序章 お祝いのことば 日本平和博物館会議加盟館より（前田耕一郎）、平和のための博物館国際ネットワークを代表して（ピーター・ヴァン・デン・デュンゲン）〔第1章 国際平和ミュージアムの創設—世界最初の大学平和ミュージアムはどうしてできたのか〕平和とは何か、どう創るか—国際平和ミュージアムの理念と使命／解説の経緯と背景 コラム：戦争の真実と平和の尊さを事実で示す資料の収集が鍵（吉田保）、開設記念特別展「ピカソと平和ポスター展」のこと（壺井由紀）／開設後の20年の歩みをふりかえる—博物館としての諸機能確立の努力を中心に コラム：戦争体験者とミュージアムの架け橋となって（渡辺久栄）／今日の館内施設の概要 コラム：玄関の2つのバラ（アンネのバラ、愛吉・すずのバラ）のこと（安斎育郎）、手塚治虫氏の「火の鳥」のレリーフのこと（松谷孝征）、ムッチャン平和像と立命館大学国際平和ミュージアム（村上隆）、中野信夫先生と国際平和ミュージアム（川本八郎）〔第2章 戦争の惨禍と平和への歩みをどう展示するか—地階の展示室の発展を中心に〕開設時の展示の基本コンセプト コラム：立命館の歴史で忘れてならぬことと継承せねばならぬこと（岩井忠熊）、国際平和ミュージアム誕生までの想い（水田善久）／国際平和ミュージアムのリニューアルと地階の展示 コラム：ミュージアムの展示デザインについて（原田豊）〔第3章 平和創造と和解にむけて—2005年の2階フロアへの拡張にこめられたもの〕平和創造展示室はいかにして生まれたか、いかに進化させるか／新設されたその他の施設 無言館・京都館—いのちの画室 資料「記憶のパレット」窪島誠一郎作、ミニ展示室 平和ギャラリー、コラム：無言館との出会い（広末良子）、私の国際平和ミュージアム（小野忠

熙）、安斎育郎先生・国際平和ミュージアムとガラスのうさぎ（高木敏子）、父の遺品（横尾優子）

〔第4章 国際平和ミュージアム各部門の成果と課題〕特別展の開催：総説、特別展の開催（1992年～2005年、2006年～2011年）／資料の収集・整理・活用：1992年～2005年を中心に、2006年～2011年を中心に、メディア資料室の活動（2005年～2011年）、コラム：出版のデジタル化と平和創造に向けて（渡辺勝之）／平和のための学習活動への協力と連携：立命館学園の正課の平和教育との連携、コラム：福祉のことと平和—「福祉学」と「平和学」をむすびつける「里山学」への挑戦（桂良太郎）、学校文化のなかに根をおろした平和学習—立命館宇治中学校（本庄豊）、17年間にわたり200名余の学生を米国から引率して来て（ピーター・カズニック）、平和のための関連企画

コラム：「世界大学平和サミット」の開催に係わって（林堅太郎）、他団体の学びへの協力 コラム：「新しい千年紀を迎える若者たち」を開催して（ロバート・コワルチェック）、ボランティアガイドとの協力と研修への支援
コラム：ミュージアムと共に歩んだ20年のボランティアガイド活動（足立恭子）／世界の平和ミュージアムとの連携・協力：国際ネットワーク形成への協力と連携 コラム：第1回世界平和博物館（ブラッドフォード）に参加して（薬師寺公夫）、「平和のための博物館」の国内、海外ネットワークづくりに関わって（山根和代）／国際平和ミュージアムの刊行物と広報活動

〔第5章 私の思い出、私の期待—こんなミュージアムに育ってほしい〕博物館・団体・組織から：日本平和博物館会議 沖縄県平和記念資料館（呉屋禮子）、ひめゆり平和記念資料館（島袋淑子）、対馬丸記念館（高良政勝）、長崎原爆資料館（中村明俊）、ピースおおさか

（大阪国際平和センター）（倉田清）、神奈川県立地球市民かながわプラザ（安部晋弘）、川崎市平和館大和裕）、埼玉県平和資料館阿部隆）、平和のための博物館・市民ネットワーク：戦争と平和の資料館 ピースあいち（野間美喜子）／個人エッセイ（石川文洋、小松昭夫、中村梧郎、森田拳次）

〔第6章 学術交流協定締結博物館の紹介〕侵華日軍南京大屠殺遇難同胞記念館（中華人民共和国・南京）、戦争証跡記念館（ベトナム・ホーチミン）、ゲルニカ平和博物館（スペイン・ゲルニカ）、国際平和連帯博物館（ウズベキスタン・サマルカンド）、沿海州国立アルセニエフ総合博物館（ロシア・ウラジオストク）

〔第7章 20年の歴史を超えて、未来へ（座談会）〕井口和起・山辺昌彦・君島東彦・山根和代・高杉巴彦・岡田英樹（司会）

〔第8章 資料編〕年表（戦争、大学そして学生：学徒出陣、わだつみ像建立、国際平和ミュージアムの歩み）、刊行物・関連資料・図録一覧、特別展開催一覧 1992～2011年度、常設展ミニ企画展 2004～2011年度、収蔵資料・蔵書、入館者・入館団体数一覧（1992～2011年度）、博物館学芸員実習・インターンシップ・ボランティアガイド・学生ミュージアムスタッフ

◆風土記の成立について

神崎勝著 NPO法人 妙見山麓遺跡調査会（〒679-1214 兵庫県多可郡多可町加美区役所294 TEL0795-35-0555）B5 40頁

<http://www.eonet.ne.jp/~myouken/iseki>

2006年8月から偶数月に開催されていた「播磨風土記」講座につづき開講されている風土記講座の記録集。講座『出雲風土記』第1回（2012.8.25 於妙見山麓遺跡調査会）／講座『播磨風土記』第2次第1回（2012.9.29 於柳田国男記念館）

論考 風土記の成立について／補論 風土記

撰進の官命(いわゆる和銅官命)について／補論 風土記編纂の時期と編纂者／付表 「国名」比較表(古事記・評木簡・国造本紀)、「国名」比較表(風土記)、木簡資料にみられる二字以外の用字例

◆意宇郡(その1)

神崎勝著 NPO法人 妙見山麓遺跡調査会(同上) B5 28頁

講座『出雲風土記』第2回(2012.10.27 於的場村公民館)

総記一語釈・注釈／意宇郡 1一語釈・注釈／論考 国引き神話について

◆賀古郡(その1)一語釈・注釈

神崎勝著 NPO法人 妙見山麓遺跡調査会(同上) B5 24頁

講座『播磨風土記』第2回(2012.11.17 於柳田国男記念館)

原文／賀古郡 1一語釈・注釈／小考 印南別嬢の伝承について

◆新装復刻版 呉鎮守府沿革誌

呉鎮守府副官部編 あき書房(〒734-0007

広島市南区皆実町5-20-19 TEL082-255-1916)

2012年5月 A5 130頁 1000円

大正12年5月27日の「海軍記念日」に刊行された『呉鎮守府沿革誌』の影印復刻版。1886年(明治19)に軍制改革により第二海軍区鎮守府が設置された呉について、「主ナル事蹟ニ付年次ヲ逐ヒテ略記セルモノ」としてまとめられた鎮守府沿革誌であり、巻末には鎮守府司令長官、参謀長など歴代幹部職員一覧と「明治十八年、呉浦現況報告」が付されている。

◆呉 海軍の街

(明治・大正・昭和)呉市街地図

あき書房(同上) 2012年5月 1500円

『呉鎮守府沿革誌』とともに復刻された呉市街地図。明治四十年呉市街之略図／大正五年呉市街地図／大正十三年呉市街新地図／昭和十年最新大呉市街地図

◆後記

縄文時代の遺跡から、刃物状の石器が付いたマグロの骨が出土したとのニュースに接し、早速、出講先の帝京大学図書館課程で情報サービス演習を学ぶ学生約40名に、遺跡名、新聞記事、現地説明会日時、大学キャンパスから車の最短ルートなどを Google 等の検索エンジンで調査する課題を出した。さすがに学生たちのネット検索のスキルは高く、難なく解かれてしまったが、「波怒棄館(はぬきだて)」という変わった遺跡名の由来だけは、私を含め全員がギブアップであった。そこで、県外者であっても宮城県関係の調査・研究に必要な資料についてであれば受付けてくれる宮城県図書館のオンラインレファレンスに投稿したところ、数日後、加藤宣夫著『小原木史話』(耕風社、1993)に「榛の木(はんのき)」から出た当て字との記載があること、加えて、地名辞典(平凡社、角川書店)や地誌類(気仙沼市史、合併前の唐桑町史)には見つからないとの回答があった。その手際に感激し、重ねて調査手順を尋ねると、地名辞典・研究書→遺跡調査資料→地誌と段階を踏んで当該書を見つけ出し、裏付けを取るべく、加藤氏の他の著作、引用・参考文献、「榛の木」関係資料に当たったとのこと。レファレンスとは斯くあるべし、と教室で我がことのように力説した。同氏は民宿経営をする、いわゆる在野の郷土史家である。錚々たる地名辞典や学術書、自治体編纂の地誌から漏れたことが、私家版と思われる著書にのみあった。まさに郷土史研究の底力を見た思いがした。まだまだ埋もれた成果が山の様にあるに違いない。宮城県図書館みやぎ資料室のご担当者には改めて感謝申し上げる次第である。(飯澤)

地方史情報 115 2013年(平成25年)8月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137
発行所: 岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757